週刊 YEARBOOK

1981 昭和56年

日録20世紀

3|17
平成10年3月17日発行
(毎週1回発行)第2巻第10号
¥560
講談社

終戦から35年、「中国残留孤児」の祖国への旅

『窓ぎわのトットちゃん』732万5000部!

熟年向け「フルムーンパス」大ヒットの秘密

チャールズ、ダイアナ結婚!

衛星中継で50ヵ国7億5000万人を魅了
“世紀のロイヤル・ウエディング”!

チャールズ、ダイアナ結婚の「裏側」

▲挙式後、ロンドン中の教会の鐘が鳴り渡る中を、馬車でバッキンガム宮殿に向かう二人。この馬車は、1947年のエリザベス女王の結婚の時にも使われた。 REX FEATURES／PPS

同じ頃、式場のセントポール大聖堂前の路上には、見物場所を確保しようとする市民や観光客が続々と寝袋を持参して泊まりこみ、翌二八日夜には前夜祭が催され、二万発の花火が打ち上げられて、国民の祝賀気分を一層盛り上げた。

そして結婚式当日。色とりどりの花やリボン、旗などで飾られたバッキンガム宮殿から式場までの沿道は一〇〇万人の観衆で埋めつくされた。午前一一時から始まった結婚式には日本の皇太子夫妻をはじめ、ナンシー・レーガン米大統領夫人やミッテラン仏大統領ら各国元首と王室代表など約二五〇〇人が出席。祭壇の前で二人はおごそかに誓いの儀式と指輪交換をし、式をとり行う大主教が結婚の成立を宣言したのである。

新婚の二人が馬車でバッキンガム宮殿に向かう沿道では、大観衆が手にした英国国旗を振りながら歓声を上げ、二人を祝福した。結婚式の模様は五〇ヵ国に衛星中継され、世界中で約七億五〇〇〇万の人々が、この新しい皇太子妃の誕生を興奮とともに見つめていた。

誰もが、今、ダイアナは幸せの絶頂にいると信じていた。しかし、事実はそうではなかったのだ。

一冊の本の出版によって彼女の運命が変わった

結婚式の数日前、二人はセントポール大聖堂で式のリハーサルを行った。しかしその最中、ダイアナが突然、泣き出してしまったことはあまり知られていない。それは、皇太子の恋人、カミラ・パーカーボウルズ（三四）の存在が頭をよぎったからだった。後に、皇太子自身が認めたカミラ夫人との関係は、実はダイアナとの婚約時代から続き、皇太子の言動からダイアナの知るところとなっていた。いったんは婚約解消も考えたダイアナだったが、皇太子への愛情を消すことはできず、結婚へと踏み切ったのだった。

こうした事実が公になったのは、一九九二年六月に出版された一冊の本からだった。イギリスのジャーナリスト、アンドリュー・モートンによる『ダイアナ妃の真実』である。ここには皇太子夫妻の冷え切った生活や、皇太子の不倫に悩むダイアナが何度も自殺未遂をはかり、過食症におちいっていたことなどショッキングな事実が明かされていた。この“暴露本”は世界八〇ヵ国以上で出版され、五〇〇万部を超えるベストセラーとなった。本の反響が引き金となり、二人は話し合いのすえ、同年一二月に正式別居を発表。一九九六年に離婚が成立した。

以降は対人地雷禁止運動などの活動にたずさわり、新しい人生を歩んでいたダイアナだったが、一九九七年八月三一日、パリ・セーヌ川ぞいのトンネル内で起きた突然の交通事故により三六歳の短い生涯を閉じた。そして彼女の死後、初めて明かされた事実があった。別居のきっかけとなった『ダイアナ妃の真実』が、実は彼女の全面協力により作られたものだったということだ。ダイアナは第三者を介して著者の取材を受け、原稿の校正や写真の提供にもかかわっていたのだ。ダイアナ自身の言動を新たに掲載したこの伝記の“完全版”は、一九九七年一〇月に英米で発売され、一躍ベストセラーに躍り出た。本の中でダイアナは、結婚式を振り返り「私自身は幸せだったとは思いません」と語っている。世界中の人々が幸せを信じていた花嫁姿のダイアナの笑顔の裏には、花婿の不倫に悩む涙が隠されていたのである。

この『完全版・ダイアナ妃の真実』（早川書房）の日本語版翻訳者・入江真佐子氏は言う。

「この本は、九二年の出版当時は“暴露本”扱いされましたが、実は精神的に追い詰められたダイアナの心の叫びだったのです。この本がなければ、今もひょっとしたら二人は愛のない夫婦生活を続けていたかもしれません。しかし離婚後、ダイアナは、結婚生活では得られなかった“真の自分”と出会い、生き生きと活躍しました。彼女の死に世界中があれほど悲しんだのも、元皇太子妃の枠を越えて弱い立場の人々の側に立って輝く彼女にひかれていたからだと思います」

そしてダイアナは、人々の心に永遠に残る「イギリスの薔薇」となったのだ。

ダイアナ元妃の遺産46億円 さて日本の皇室は?

ダイアナ元妃の死後、彼女の遺産が、少なくとも2100万ポンド（約46億円）に達することが、明らかになった。遺産管理をしている弁護士によると、その内訳は、チャールズ皇太子と離婚した際の慰謝料1700万ポンド、慰謝料の利子分300万ポンド、離婚前の個人資産100万ポンド。巨額の遺産を相続するウィリアム（15）、ヘンリー（13）両王子は、その4割にあたる840万ポンド（約18億円）もの相続税を支払うことになる。チャールズ皇太子は、王子らの特別後見人に任命したジョン・メージャー前首相を税金対策にあたらせることを決めた。

ちなみに、昭和天皇の遺産は美術品などが非課税扱い、あるいは国有財産となり、株などの有価証券、預金などの形で運用されてきた金融資産の合計が約18億6900万円。そのうち、現天皇が相続する9億3450万円が課税対象で、相続税額は約4億2800万円だったと推定されている。

◀一九九七年八月の衝撃的な事故死の後、英米で発売されベストセラーとなった『完全版・ダイアナ妃の真実』。 AP／WWP

▶バッキンガム宮殿の公式謁見室で、新郎新婦を中心に、両家の記念撮影。子どもたちの後ろの列、右から三人目がダイアナの父・スペンサー伯爵、左から四人目がエリザベス女王。 英国王室 PANA通信社

終戦から三五年、国交断絶二三年を超えて
"生き別れた"ものたちの悲願実る!
「中国残留孤児」四七人の祖国への旅

昭和五六年三月二日、「中国残留孤児」の一行四七人が、初めて祖国日本の土を踏みしめた。多くが貧しい「満州移民」の子として生まれ、終戦時、ソ連の参戦を知り退却した関東軍に見捨てられて、混乱の中で家族と生き別れたのである。肉親を求め、祖国を夢に見続けた孤児たちの身に、三五年の月日が流れていた。

▶中国へ帰るため成田空港に向かうバスの窓から、祖国の人々との別れをおしむ孤児たち。昭和57年3月7日、第2次訪日調査団の一行。

浜口タカシ

孤児四七人が訪日 二六人が身元確認

「私は終戦当時、戦闘で負傷し奉天（現・瀋陽）の病院にいたが、近くの日本人収容所に出かけ、その惨状を目のあたりにしました。収容所は着の身着のままの女性、子ども、老人ばかり。壮年の男たちが兵隊にとられたからです。昭和二〇年八月九日に参戦したソ連兵の殺戮や略奪から逃れた人たちです。途中ではぐれ中国人に拾われたり、お互い生き延びることを願い、母親や身寄りを失った子どもが中国人に売られることもありました」

こう語るのは、昭和四七年の日中国交回復後、中国からの帰国者を支援し続けてきた「中国帰国者三五会」の現会長・和泉清一氏（現・七三歳）である。

引揚げ者名簿からも抹殺され、まさ↖

に"棄民"となった推定三〇〇〇人の「中国残留孤児」が、肉親捜しのため、最初に訪日したのは昭和五六年三月二日。その第一陣四七人は、黒竜江省や吉林省など中国東北地方（旧・満州）に住む人たちを中心に、年齢が三五歳から四三歳までの男性二三人、女性二四人であった。

三月二日、午後二時三五分、中国民航927便が成田空港に到着。グレーや紺色の人民服を着た孤児たちは、空港ロビーでカメラのフラッシュをあびた後、空港内の控え室で記者会見にのぞんだ。

「三五年間、自分の親のことを忘れたことはありません。夢にまで見た祖国に帰ることができ、興奮しています」

孤児を代表して何紅さん（三五）はこう語った。そしてその後、孤児たちの一行は宿舎と身元調査会場となる東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターに向かったのである。

滞在日程や調査の進め方などの説明を受け、厚生省の係官八人による面接調査が始まったのは訪日三日目の三月四日であった。

最初に肉親が確認されたのは、ウイグル自治区に住む陳家東さん（三八）。父親は神戸市から駆けつけた富井英男さん（六二）で、中国人養父の弟が当時富井さん経営のタバコ会社のボーイをしており、陳さんに父と母の名前を教えていたため、身元が明らかになった。

また、王素潔さん（三七）は青森県の成田権太郎さん（六〇）の長女・信子さんと判明した。成田さんは昭和一五年に吉林省琿春県の開拓地に入植、終戦後ソ連の収容所に入れられたが、妻のイエさんが風邪で倒れ、食べ物がなかったため、中国人に預けたもので、顔が母親とよく似ていることが決め手となった。

その後も面接調査は東京、大阪、京都で三月一五日まで続けられ、肉親が判明したのは二六人、二一人の孤児たちの身元は確認されないまま、三月一六日一一時一五分、病気で入院している王加鰲さんをのぞく四六人の孤児たちは、日本航空783便で日本を離れたのである。

二〇七人が帰国 自立への苦難の道

「中国残留孤児」たちの本格的な身元調査が始まったのは、昭和四七年九月の日中国交回復からであった。身元の確認は、孤児たちからの手紙、「未引揚邦人索引

▲すでに没していた父の墓参りをする孤児。第1次訪日にて。 共同通信社

▲身元が判明し、姉と肩を抱き合ってうれし泣きにむせぶ孤児。5歳の時、吉林省で中国人に預けられた。昭和56年3月9日。　読売新聞社

簿」「邦人死亡者索引簿」、中国東北地区に入植した二二七開拓団約二七万人の名簿や中国からの引揚げ者からの事情調査など、多岐にわたるものであった。

昭和五〇年三月から五六年の一月にかけて合計九回実施された公開調査も、大きな力を発揮した。孤児たちの顔写真や特徴、離別の状況などが、「朝日新聞」をはじめ、テレビなどによって広く報道されると、日本各地から「肉親ではないか」との情報が寄せられ、その間一六六人の身元が判明した。

しかし、公開調査や資料などによる確認も決め手を欠き、年々むずかしくなっていった。このため、実際に顔を見、声を聞き、身体の特徴などを確認し合い、「肉親と再会したい」という孤児たちの願いを実現するため、訪日調査が行われるようになったのである。

訪日調査は昭和五六年三月の第一回から平成九年一〇月まで二八回実施された。その間、訪日した孤児たちは二〇二四人、うち身元が判明した人は六五七人、判明率は三二・五パーセントであった。

訪日や訪中調査で身元が判明し、日本に永住帰国する孤児たちもふえていった。平成九年までに二一〇七人が帰国、配偶者や子どもを含めた世帯員は七五五四人にものぼったのである。しかし、帰国した彼らにとって、夢にまで見た憧れの日本の現実はどうだったのか。

「孤児たちに日本政府から支給されるのは、帰国のための旅費だけ。しかも本人と配偶者、未成年に限りますから、日本で生計を立てるのは大変なことです。言葉や文化、生活のギャップから、ノイローゼになったり中国に引き返す人もありました。二三年間の日中国交断絶は孤児問題を長びかせましたが、日本語教室など地道なボランティア活動も続けられ、二世の中にはしっかり日本で自立し、今や事業に成功する人も現れています」

こう語るのは、終戦当時、母親と二人でハルビンの収容所に入れられ、自身も孤児になりかねなかったという「毎日新聞」編集委員の遠藤満雄氏（現・五三歳）。孤児たちは戦争の悲惨さを背負いながらも、自活の道を歩み続けているのである。

▲まだ幼かった孤児たちには、たしかな記憶がない。身につけていた写真がとぼしい手がかり

女たちの肖像

ジーパン姿の若者も弔問に“だいこんの花”市川房枝、「女性解放」一筋の生涯に幕

稲葉真弓

生涯を女性解放運動・差別撤廃運動に捧げた参議院議員・市川房枝が、心筋梗塞で亡くなったのがこの年の二月一一日。翌日、婦選会館で行われた通夜には、政治家や婦人団体関係者のほか、主婦、ジーパン姿の若者など約二二〇〇人が弔問に訪れ、大正、昭和にかけ女性の地位向上をめざして闘った愛称“だいこんの花”の人柄と八七年にわたる足跡をしのんだ。棺にはいかにもこの人らしく、前年の昭和五五年にコペンハーゲンで署名式が行われた国連の「女子差別撤廃条約」のコピーと、愛用の眼鏡、筆記用具が納められた。

市川房枝の一生は、女性の意識向上、男女平等社会の実現と、つねに女性にスポットをあてた思想に貫かれているが、その原点になったのが、「女に生まれたのが因果だった」という母親のひとことだった。

明治二六年、愛知県明地村（現・尾西市）の農家に生まれた彼女は、男三人女四人の三女。父親は働きもので実直な人だったがしばしば母親を殴った。そんな父親と、黙って耐える母親を見て、幼な心に「なぜ女に生まれたのが因果なのか、なぜ女は耐えなければならないのか」という思いが焼きつけられ、生涯の課題となった。

勉学好きの彼女は大正二年、愛知県立女子師範学校を卒業後、高等小学校の訓導になったが、女子がお茶汲みをやらされるのに疑問を持ち退職。大正六年、「名古屋新聞」（現・「中日新聞」）の女性記者第一号となり、翌年退職し念願の上京をはたした。働きながら山田嘉吉塾で英語を学び、ここで「青鞜」の平塚らいてうと知り合い、女性も政治集会に出られる社会を作ろうと治安警察法改正運動に参加。まもなく長兄の紹介でアメリカに渡った。この時期、全米婦人党会長のアリス・ポールと出会い、「労働運動は男にまかせ、女のことは女自身で、ぜひ婦人運動をしなさい」という言葉に大きな影響を受けた。

以後の彼女の活動は婦人参政権の獲得、新日本婦人同盟創立、婦選会館設立など枚挙にいとまがない。私生活では秘書のミサオを養女にし、生涯独身を貫いたが、昭和二八年参議院議員に当選した後は政治家として活躍。人なつこい笑顔と、差別、政治浄化に体あたりで立ち向かう潔癖な姿勢が共感を呼び多くの支援者を得た。つねに「権力の上に眠るな」と言い続けた彼女の最期の言葉は「富士山がきれいね」。墓石には「いこい」という三文字が刻まれている。

▼昭和55年参院選でトップ当選。

共同通信社

勝者・敗者

ハンマー投げの“中年の星”室伏重信が一〇年ぶりに自己の日本記録を更新！

阿部珠樹

陸上の投てき種目はトラック種目に比べて選手寿命が長い。三〇代の一流選手はけっして珍しくない。しかし、ハンマー投げの室伏重信の息の長さは飛び抜けていた。

室伏が日本の第一人者に躍り出たのは昭和四六年、二五歳の時である。この年、三度も日本記録を出し、周囲をあっと言わせた。それまでの室伏は、日大の先輩、菅原武男、石田義久の蔭に隠れて、「第三の男」「未完の大器」などと呼ばれていた。それが一度日本記録を出したことで、一気に素質を開花させたのだ。そして翌四七年のミュンヘン・オリンピックではベストエイトに食いこみ、いよいよ室伏時代の到来を感じさせた。

ところが、その頃から室伏の足踏みが始まる。二五歳の時の日本記録をなかなか更新することができず、いつのまにか年齢を重ねてしまうのである。

精進しなかったわけではない。会社員から大学の教員となり、独自の筋力トレーニングや名人芸の域と言われた三回転ターンに磨きをかけたものの、どうしても壁を破ることができなかったのである。

それでも室伏は飽くことなくハンマー投げに打ちこんだ。そしてついに壁を破る日が来た。この年、昭和五六年六月二一日、小田原で行われた実業団・学生対抗陸上で、ついに一〇年ぶりに自分の日本記録を書き替えたのだ。記録は七一メートル三六。従来の記録を二二センチも更新する大記録だった。

室伏の年齢は三五歳になっていた。すでに中年と言ってもよい。一〇年もの間隔をおいて、自己の記録を更新するなど、陸上はもとより、ほかの競技でも考えられないような快挙と言える。

だが室伏の挑戦はこれで終わらなかった。なおも自己の限界に挑み続け、この後、六度にわたって日本記録を更新する。最後の日本記録は七五メートル九六にまで伸びていた。三八歳の大記録だった。第一人者として、これほど息の長い活躍を続ける選手は、今後、現れることはないだろう。

▶日本選手権一二連覇、アジア大会五連覇を達成。現役引退後の平成五年、平成ベテランズ陸上で優勝。長男・広治もハンマー投げ選手。

共同通信社

1月

▼レーガン、新大統領に就任(1月20日)宣誓の後、就任演説で活力に満ちた「米国の再生」を訴えた。その直後、テヘランの米大使館の人質解放のニュースが流れた。写真は祝賀舞踏会でナンシー夫人と。

ロイター／サンテレフォト

▲創価学会恐喝事件(1月24日)警視庁は顧問弁護士を逮捕。機密や醜聞をネタに3億円を入手、さらに5億円を要求したという。名誉会長・池田大作が事情聴取を受けた(写真)。昭和60年、有罪判決。

読売新聞社

▲雪の中で立ち往生(1月7日)前年末から、日本海側を中心に"三八豪雪"に次ぐ大雪に見舞われ、各地で被害が相次いだ。写真は岐阜県の越美南線美濃白鳥駅で雪帽子の列車。

朝日新聞社

▼江青(69)に死刑判決(1月25日)北京で開かれていた「四人組裁判」が結審。かつて中国の最高権力者・毛沢東の夫人だった江青の、「革命無罪」の絶叫が法廷に響いた。

新華社・中国通信

▶貴ノ花引退(1月17日)初場所4日目から3連敗、持ち前の粘り腰が影をひそめていた。30歳。大関在位50場所は新記録。後に二子山部屋を率い、息子を横綱貴乃花に育てた。写真右は実兄の元横綱若乃花。

朝日新聞社

▼京都・伏見工高初優勝(1月7日)東大阪の花園ラグビー場で行われた全国高校ラグビー決勝戦は、戦後初の関西勢同士の対決。伏見工が残り1分で決勝トライを奪い、大阪工大高に辛勝。

朝日新聞社

昭和56年1月

1(木)●「人民日報」、華国鋒の経済失政の責任追及。
●民法改正施行。配偶者遺産相続が二分の一に。

2(金)●秦の始皇帝陵から銅俑発見と北京放送報道。

3(土)●環境庁、初の鳥類繁殖分布調査結果を発表。

4(日)●厚生省、保健衛生基礎調査。気分転換の方法第一位は、男性は酒、女性はおしゃべり。

5(月)●通産省、韓国への武器輸出の疑いで二社聴取。

6(火)●閣議、二月七日を「北方領土の日」と決定。
●円相場、初めて一ドル＝二〇〇円を割る。

7(水)●ポーランドの自主労組「連帯」、週休二日制・週四〇時間労働の即時実施を要求。

8(木)●自治体の七割が空き缶公害に迷惑と環境庁。

9(金)●トヨタ、米GE社と技術協力契約に調印。

10(土)●瀬戸内寂聴、徳島市で「寂聴塾」を開講。

11(日)●川上紀一千葉県知事、選挙で不動産業者から五〇〇〇万円受領と判明(2月16日辞表提出)。

12(月)●華道の池坊が四億円の所得申告もれと判明。

13(火)●工業技術院、超伝導素子SSDを開発と発表。

14(水)●帝国興信所、前年倒産件数は史上二位と発表。

15(木)●国鉄、東京・上野・新宿駅に喫煙コーナー開設。

16(金)●三重県長島町で猟銃男が現金輸送車を襲撃。

17(土)●動燃東海再処理工場、本格的な操業を開始。

18(日)●ヨーコ・オノ、ジョン・レノンの死後四〇日目のメッセージ広告を世界九紙に発表。

19(月)●中国、民主安定政策優先のため新日鐵に宝山製鉄所二期工事中止を通告。

20(火)●イラン、米大使館人質を四四四日ぶりに解放。
●レーガン、米第四〇代大統領に就任。

21(水)●潜水調査船「しんかい2000」進水。

22(木)●警察庁、初の校内暴力対策会議を開く。

23(金)●金大中、上告を棄却され死刑確定。閣議、無期懲役に減刑(25日韓国の戒厳令解除)。

24(土)●創価学会が告訴していた元顧問弁護士・山崎正友、恐喝・同未遂容疑で逮捕。

25(日)●中国の四人組裁判で江青・張春橋に死刑判決。

26(月)●日加合弁の北極石油会社設立発起人会、開催。

27(火)●最高裁、村長交代で企業誘致取り消した沖縄県宜野座村に損害賠償支払いを命じる。

28(水)●札幌に一四年ぶり豪雪。積雪九九センを記録。

29(木)●帝銀事件の平沢貞通と救援会事務局長の長男の養子縁組が成立。再審請求継続のため。

30(金)●日産、英での小型乗用車生産で英政府と合意。

31(土)●島田陽子、「将軍」でゴールデン・グローブ賞テレビ・ドラマ部門主演女優賞を受賞。

ニュース・ファイル 1981

フォト＋日録で再現する365日

「ハチは一度刺したら死ぬ」、ロッキード裁判での被告前夫人の言葉が流行語になる。中国残留孤児の初来日、神戸ポートピアの開幕、オンラインによる金銭詐取……、貿易黒字は摩擦を増大させ、若い女性たちは「ウッソー」「ホントー?」で会話した。

◀具志堅用高(25)、V14ならず(3月8日)故郷・沖縄で行われた世界Jフライ級タイトル戦で、メキシコのフローレスに12回KO負け。金平会長の白いタオルが飛んだ。4年5カ月間守った王座を失い、8月に引退。

読売新聞社

▲日劇フィナーレ(2月15日)昭和8年以来のレビューの殿堂も、観客の志向の変化に対応できなかった。1月28日から始まった最終公演では、笠置シヅ子らも最後の舞台に上がった。

時事通信社

朝日新聞社

▲極右軍人、スペイン国会占拠(2月23日)軍事政権樹立を叫び、150人が開会中の議場に乱入。カルロス国王がクーデター反対を表明し、18時間後全員投降した。写真は演壇上の指揮官テヘロ中佐。

AP WWP

▲ローマ法王パウロ2世来日(2月23日)歴代法王で初。「アリの町」ゼノ修道士を激励し、24日には天皇を表敬訪問(写真)。武道館で若者と対話集会するなど"行動する法王"らしい4日間だった。

読売新聞社

▶川上紀一千葉県知事、辞任(2月16日)7年前の知事選で不動産会社から5000万円を受け取り、利権を約束した念書に署名したことが明るみに出て約1ヵ月。しかし"金権"はついに認めなかった。

▶中国の楼蘭遺跡で少女ミイラ発見(2月14日)「解放日報」が、前年11月に発見され、金髪で愛らしい顔立ち、すらりとした姿態などと報道。残された毛織りの衣類から、約2200年前のものと判明。

共同通信社

▲別府大分毎日マラソンで宗兄弟が1、2位(2月1日)746選手がスタート、40キロ付近でスパートした兄弟が他を引き離した。兄の茂(左)が2時間11分30秒、弟の猛は2秒遅れ。

毎日新聞社

昭和56年2月

1(日)●竹田五郎統幕議長が雑誌で徴兵制違憲の政府見解に異議、防衛費一%枠を批判と判明。

2(月)●日本旅行業協会、「買春ツアー」を企画した日本エアー・ツーリストの除名を決定。

●南極・昭和基地に直通電話開設。三分九千円余。

3(火)●高三男子の平均身長が一七〇センチ突破と東京都。

4(水)●NHK、「ロッキード事件五年」特集で三木武夫元首相のコメントを放映直前に削除。

5(木)●寺尾聰作曲・歌の「ルビーの指環」発売。

6(金)●藤原定家の日記「明月記」断簡を富山市で発見。

7(土)●早大の加藤一郎教授ら、直線上を二本足で歩くロボットWL・9DRの公開実験を行う。

8(日)●隠し寄付金の北里大で理事長・理事全員辞任。

9(月)●喫煙者が男八四万、女三八万減少と専売公社。

10(火)●日本消費者連盟、使い捨てカイロに火傷の危険があると品質規格の設定を通産省に要望。

11(水)●文部省、初めて建国の日記念式典を後援。

12(木)●東京中野区で初の教育委員準公選の投票開始。

13(金)●経団連など経済五団体、行革推進五人委結成。

14(土)●中国「解放日報」、楼蘭でミイラ発見と報道。

15(日)●日本劇場、閉場。四八年の歴史に幕。

16(月)●東京地検、株投機集団・誠備を脱税で摘発。

17(火)●EC、日本製乗用車などに輸入監視制度導入。

●長崎県五島沖で瀬渡し船転覆。一六人死亡。

18(水)●高松塚古墳の壁画修復、八年間の作業を終了。

●米大統領、国防費増大と他の財政支出削減する経済再建策(レーガノミックス)を発表。

19(木)●新潟地裁、柏崎刈羽原発用地内の反対派最後の団結小屋を強制撤去。

20(金)●環境庁、四都府県で二酸化窒素総量規制決定。

21(土)●鯨岡兵輔環境庁長官、島根県中海の白鳥減少で県の自然保護行政再検討を指示。

●太陽X線観測衛星「ひのとり」、打ち上げ(26日太陽の爆発現象フレアの観測に成功)。

22(日)●奥野誠亮法相、改憲論議必要と静岡県で講演。

23(月)●ローマ法王ヨハネ・パウロ二世来日。

24(火)●北海道教組、主任手当一億円を道教委に返還。

●鈴木清順監督「ツィゴイネルワイゼン」、ベルリン国際映画祭で入賞。

25(水)●韓国で新憲法下初の大統領選。全斗煥選出。

26(木)●都内の更地分譲は前年ゼロと不動産協会発表。

27(金)●富士山頂で過去最低の零下三八度を記録。

28(土)●長野県で小学二年生のポリオ患者から日本では絶滅とされていたI型ウイルスを検出。

▲横綱輪島、引退(3月10日)「気力がなくなった」と11年間の土俵生活に別れ。33歳。優勝14回。「黄金の左」による投げは強烈だった。師匠・花籠親方の長女と結婚し、いったんは花籠部屋を継ぐが、昭和61年プロレス入り。

朝日新聞社

◀ピンク・レディーさよなら公演(3月31日)独特の振り付けで「UFO」などのヒット曲を次々に飛ばしたミー(左)とケイの二人が、東京・後楽園球場の約3万人の聴衆の前で最後の熱唱を見せた。

共同通信社

▼東京都が「ベビーホテル」一斉点検(3月20日)無認可施設で乳児死亡が絶えず、貧しい保育行政が指摘された。6月の厚生省発表では94パーセントに窓なしなどの問題があった。

AP WWP

▲レーガン米大統領狙撃される(3月30日)ワシントンで、至近距離から撃たれ重傷。犯人は25歳の白人学生でその場で逮捕されたが、後に心神喪失状態にあったとされて無罪となった。

朝日新聞社

共同通信社

◀「五つ子」、名づけ親と対面(3月5日)鹿児島市立病院で誕生して以来、全国に明るい話題を提供。初の帰省となった鹿児島県徳之島では、名前に1字ずつをもらった「長寿世界一」115歳の泉重千代さんを訪ねた。

▲「ノーパン喫茶」初摘発(3月6日)大阪府警南署が、女性に薄い下着1枚でコーヒーを運ばせていた南区の喫茶店「トップレス」を、公然猥褻容疑で捜索。未成年のウエイトレスらを保護した。

昭和56年3月

1(日)●静岡市のビキニ被曝記念集会で原水禁運動団体が一九年ぶりに統一集会。

2(月)●中国残留孤児四七人、初来日(二六人判明)。

3(火)●日中渡り鳥保護協定調印。捕獲禁止など。

4(水)●国公立大二次試験。東京学芸大では水泳の実技、岡山大でCM小論文など内容多彩に。

5(木)●癌が脳卒中を抜き初めて死因の一位と判明。

6(金)●大阪の喫茶店「トップレス」、公然猥褻で摘発。

7(土)●厚生省、過去三年間で五〇人が死亡の全国のベビーホテル約六〇〇ヵ所を一斉検査。

8(日)●プロボクシングJフライ級世界王者の具志堅用高、一四度目のタイトル防衛に失敗。

9(月)●都立高の入学辞退者が六〇〇〇人を超える。

10(火)●閣議、徴兵制違憲の統一見解答弁書を決定。

11(水)●国鉄赤字線七七の廃止を定めた施行令公布。

●黒柳徹子『窓ぎわのトットちゃん』発売。

12(木)●静岡地裁、伊東市で捕獲のイルカを逃がしたカナダ人のグリーンピース活動家に有罪判決。

13(金)●後楽園球場のカラー電光掲示板、点灯式。

14(土)●アニメ映画「機動戦士ガンダム」封切。

15(日)●ベトナム難民青年、東京農工大に合格。

16(月)●大阪に新交通機関、南港ポートタウン線開業。

●臨時行政調査会(会長・土光敏夫)初会合。

17(火)●四国最大のスーパー・フジでパートタイマー六〇〇人が「準社員労働組合」を結成。

18(水)●自民党議員二五九人が「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」結成。

19(木)●浜岡原発増設の公聴会。五千余人が抗議デモ。

20(金)●神戸ポートアイランド博覧会開幕。

21(土)●香川県仁尾町で仁尾太陽博開幕。

22(日)●防衛大二五期の任官拒否が過去最高四二人に。

23(月)●米でベトナム症候群の実態発表。帰還兵の三分の一以上が幻覚などに悩む。

24(火)●最高裁、日産の男女定年差別は無効と判決。

25(水)●朝日世論調査で日米安保評価が初の五割突破。

26(木)●警察庁、全国二三〇の中・高校が校内暴力に備え卒業式に私服警官の校内警戒要請と発表。

27(金)●米人のグリーンピース活動家、千葉県沖の捕鯨船の捕鯨砲に鎖で体を縛りつけ抗議行動。

28(土)●早大商学部事務員が学生の成績表偽造と判明。

29(日)●行政管理庁、訪問販売実態調査結果を発表。トラブルの四割は英語・学習教材。

30(月)●レーガン米大統領、学生に狙撃され重傷。

31(火)●ピンク・レディー、解散公演。

▼靖国神社に自民議員ら200人参拝(4月22日)春季例大祭の天皇の勅使参拝にあわせ、中曽根行政管理庁長官ら閣僚を含む大集団が参拝。政府は、靖国参拝は「私的な心の問題」との見解を出していた。

▲マザー・テレサ講演(4月26日)「世界宗教者平和会議」などに出席のため初来日。東京・四谷の上智大で学生たちに「愛は行動です」などと訴えた。インドで貧民救済を続け、1979年ノーベル平和賞を受賞していた。

読売新聞社

朝日新聞社

▲東大、早大から勝ち点(4月19日)神宮球場で行われた東京六大学野球で、東大が対戦史上初の連続完封勝ち。投手・国友が初本塁打。商学部成績原簿偽造事件の影響か、早大に元気がなかった。

共同通信社

▲敦賀原発、放射能もれ(4月18日)福井県の環境調査から一般排水路への流出が判明。また前月には作業員ら56人が被曝し、それを隠していた。原因は施設の構造的欠陥と人為的ミスと断定。

読売新聞社

▶蘇った白鳳の美(4月1日)奈良・薬師寺で西塔落慶法要。1528年に全焼して以来失われていた東塔との〝均衡の妙〟が再現した。建築費の約15億円は、全国100万人の写経勧進の積み重ねだった。

▶米スペースシャトル「コロンビア号」帰還(4月14日)12日に打ち上げ、予定どおり地球を36周して、世界初の再使用可能有人宇宙船の任務を完了。宇宙開発実用化時代を告げる画期的な出来事だった。

朝日新聞社　NASA／ユニフォト・プレス

昭和56年4月

1(水)●沖縄県、全国で最後に学校主任制を実施。
●東京の上野—浅草間に初の二階建てバス運行。
2(木)●船橋市に売り場面積約九万平方メートルのショッピングセンター「ららぽーと」開業。
3(金)●国鉄の年間赤字額が初の一兆円突破と判明。
4(土)●東海道新幹線で変圧器破損事故。PCB流出。
5(日)●都内既婚男性の「理想のおふくろ」一位は京塚昌子、二位は森光子、と新聞に。
6(月)●日中石油開発、渤海南部で試掘に成功と発表。
7(火)●公選法改正公布。選挙運動の規制を強化。
8(水)●アニメ「Dr.スランプアラレちゃん」放映開始。
9(木)●鹿児島県沖で米原潜が貨物船「日昇丸」に衝突・逃走。「日昇丸」は沈没し二人死亡。
10(金)●一九七八年の日本の一人当たりのGNPは一六位、上位三国は中東産油国と世銀。
11(土)●東大入学式に父母約四〇〇〇人が同伴出席。
12(日)●米、スペースシャトル「コロンビア」打ち上げ。
13(月)●五五年度貿易赤字は前年比半減と大蔵省発表。
14(火)●国立歴史民俗博物館設置(58年3月開館)。
15(水)●中国からの帰還青年、ノイローゼで隣人殺害。
16(木)●タイ・カンボジア国境で難民救済ボランティアの日本人男性が強盗に撃たれる(翌日死亡)。
17(金)●谷川健一・鶴見和子ら「地名を通して地方の時代を考える全国シンポジウム」開催。
18(土)●敦賀原発で高濃度放射能もれ判明(今年すでに二度の事故隠蔽。6月日本原電社長辞任)。
●ギュンター・グラス原作「ブリキの太鼓」封切。
19(日)●山梨県長坂町に「芸術村」が開村。
20(月)●瀬古利彦、大会新でボストン・マラソン優勝。
●国鉄、四年連続値上げ。最低運賃一一〇円。
21(火)●谷合東京地裁判事補、破産ゴルフ場収賄事件で現職判事では初めて逮捕(11月6日罷免)。
22(水)●マザー・テレサ、来日(~28日)。
23(木)●岡山県人形峠から国産濃縮ウラン一トン初出荷。
24(金)●都教委、教員採用内定を二ヵ月早めると発表。
25(土)●石原裕次郎、胸部動脈瘤で入院(27日兄・慎太郎が航空自衛隊機を使って帰京し問題化)。
26(日)●グアムで日本の放射性廃棄物海洋投棄に反対する国際反核集会開催。
27(月)●教科書協会、自民党の批判受け中学社会科教科書の三年後全面再改訂を文部省に申し入れ。
28(火)●神奈川県警警部を覚醒剤密売と被疑者が告発。
29(水)●岡山大、母から子への腎臓移植手術に成功。
30(木)●北海道長沼町で自衛隊機墜落。乗員死亡。

共同通信社

証言・あの日この日
瀬島龍三(69)

3月16日(月)〈首相官邸に土光会長、円城寺会長代理をはじめ、9人の全委員が参集した。鈴木首相、中曽根行管庁長官、宮沢官房長官立ち会いの下に、首相執務室で、一人一人に辞令が手渡され、また、別室で首相、行管庁長官からあいさつがあった。／並々ならぬ決意をしていることがうかがえた〉(瀬島龍三『幾山河』)

この日、臨時行政調査会(第2次臨調)が、前経団連会長・土光敏夫を会長に、正式に発足。瀬島龍三も委員の一人として出席する。瀬島は、戦時中、大本営参謀本部勤務のエリート軍人だったが、戦後ソ連に抑留され、シベリアで強制労働に従事。帰国後は伊藤忠に入社、商社マンとして辣腕をふるう。その戦略的頭脳と行動力に目をつけたのが、行管庁長官・中曽根康弘だった。やがて、このコンビによって国鉄の民営化が実現する。(山崎行太郎)

朝日新聞社

▲旧大阪砲兵工廠本館取り壊し(5月2日)大阪城内にあり、明治3年建設の重文級と目された赤煉瓦の建物で、市民の間では保存運動が起こっていた。結局、跡地を公園にする市の計画をくつがえすことはできず、〝戦争の遺物〟がまた消えた。

毎日新聞社

◀ミニヤコンカ峰で日本隊8人死亡(5月10日)北海道山岳連盟日中友好隊隊員25人が、四川省側のヒマラヤの高峰(7556メートル)へ。頂上直下で数珠つなぎのまま転落。日本の海外登山史上最悪の遭難となった。写真は帰国した同隊一行。

▼「連帯」議長ワレサ来日(5月10日)ポーランド労働者の英雄が工場見学、講演などを行い、「ワレサ・フィーバー」を起こした。写真は、車中で修学旅行の女子高生たちと。

朝日新聞社

▶フランスに左翼政権誕生(5月10日)「変化と新しい政治」を掲げた社会党前第一書記ミッテラン(64)が、大統領選で現職のジスカールデスタンに大差をつけて勝利。23年間続いた保守政権に終止符を打った。左は夫人。

▼京都に初の地下鉄、烏丸線開業(5月29日)京都—北大路間6.6キロを13分でつないだ。8駅すべてに身障者用トイレを完備。近鉄京都線乗り入れのため、架線集電方式を採用。写真は華やかな一番電車。

共同通信社

ロイター／サンテレフォト

昭和56年5月

1(金)●乗用車の対米輸出、一六八万台に規制で合意。
2(土)●パリのロダン美術館で佐藤忠良彫刻展開催。
3(日)●世田谷区で家庭内暴力の高校生を父親が絞殺。
4(月)●オンシアター自由劇場、斎藤憐作「上海バンスキング」を上演(~31日)。
5(火)●前年一二月誘拐された名古屋市の女子大生の遺体を発見。
6(水)●早大商学部、不正入学・卒業の五五人を除籍。
7(木)●三菱中心にサウジアラビア石油化学会社設立。
8(金)●日米首脳会談、共同声明に「同盟関係」と明記。
9(土)●美濃部前都知事ら、東京・大阪湾にゴミの島を作る「フェニックス計画」反対集会開催。
10(日)●仏大統領に社会党のミッテラン当選。
●北海道ウトナイ湖に日本初のサンクチュアリ(野鳥の聖域)開所。
11(月)●成田空港燃料輸送の国鉄鹿島線で橋桁切断。
12(火)●在日米軍と海上自衛隊、秋田沖で一〇年ぶり合同演習(漁網切断続出し22日演習中止)。
13(水)●ヨハネ・パウロ二世、狙撃され重傷。
14(木)●東京・麻布で米軍宿舎建設反対の住民三〇〇人が資材搬入を阻止。
15(金)●免田事件の再審開始。初の死刑囚の再審。
16(土)●日米共同声明をめぐる紛糾で伊藤外相辞任。
17(日)●ライシャワー米元駐日大使、核搭載艦の日本寄港認める(22日ジョンソン元米国務次官、一九六一年まで岩国沖に常駐と言明)。
18(月)●下関沖で引揚げの金塊、拾い主三人に返還。
19(火)●前年は交通事故死が一〇年ぶり増加と総務庁。
20(水)●辻一三前佐世保市長、核米艦寄港問題で政府信じ市民欺いたと名誉市民章返上を表明。
21(木)●ソ連のモデル四人、文化学園の交歓会に参加。
22(金)●鉄鋼大手のコンピュータ進出活発化と新聞に。
23(土)●D・リンチ監督「エレファント・マン」封切。
24(日)●原子力船「むつ」、むつ市関根浜の母港化決定。
25(月)●サラリーマンの七割が「給料安くても転職しない」と都立労働研究所調査。
26(火)●海上保安庁、プレート・テクトニクス理論実証。
27(水)●北里大の田口教授、羊膜使用しインターフェロン(ウイルス抑制物質)生産に成功と発表。
28(木)●古墳時代の群馬県三ツ寺遺跡の発掘開始。
29(金)●京都初の地下鉄、烏丸線京都—北大路間開業。
30(土)●バングラデシュ大統領ラーマン、暗殺。
31(日)●本田技研、米で車両に欠陥と交通事故損害賠償を提訴され七五万ドル支払いで示談成立。

「現場」を歩く 神戸

未来都市「ポートアイランド」に見る自治体商法の"収支決算"

山本徹美

▲現在のポートアイランドから、北側に三宮、六甲山系をのぞむ。 但馬一憲

昭和五六年三月二〇日、神戸市が建設を進めてきた港湾埋め立て造成地「ポートアイランド」で、「ポートピア'81」博覧会が開幕した。

ポートアイランドは、昭和四一年に着工。須磨区西北部にある六甲山系の丘陵を削り取り、その土砂を埋め立てに使った。五五年度までに八〇〇〇万立方メートルを埋め立て、四三六ヘクタールを造成。この計画にかかった総工事費は二三〇〇億円。

かたや、山を崩した場所は昭和四八年から宅地として分譲、高倉台団地に続いて横尾団地が売り出される。これにより市には合計約五〇〇億円が入る。

「それは収入ではなく原価処分であり、トータルで赤字を出さないための方策」と、神戸市は説明するが、その「株式会社」発想はポートピアにもいかんなく発揮されていた。同会場には、国内企業約五〇〇社が出展、地元および地方自治体などが約一二〇、海外からも二七ヵ国が参加。官民一体のイベントは、地方博にしては意外と反響を呼び、九月一五日の閉幕までに入場者は一六一〇万二七五二人におよんだ。

主催者側の純益は約六五億円。うち四五億五〇〇〇万円が神戸市に寄付され、ここでも利益を上げたのである。

人影まばらな未来都市

三宮から無人輸送車ポートライナーに乗ってポートアイランドに行ってみた。ポートピア会場は、ファッションタウンと称されるオフィスビル街に変貌していた。平成七年に発生した阪神大震災の痕跡はもう、どこにも見当たらない。某社受付嬢が言う。

「幸いに死傷者は出ませんでしたが、地盤沈下と液状化のせいで、どこの会社も一階フロアは黄色い汚泥にまみれ、処理に追われて大変でした」

街にはあまり人影がなく、閑散とした雰囲気が漂っている。

「ここは小売り店と違いますので……。お客さんは三宮の方へ行かれます。ただし、修学旅行の見学は多いですよ」

この人工島には従業者と住民を合わせて約四万人が集まっているはずだが、それを感じさせない静けさがある。それは人ゴミと関係しているのではないか。三宮には「雑踏」があるが、この未来都市にはない。ゲームセンターやパチンコ屋は見当たらない。当初、ここには二万人の計画人口が設定されていた。現在、住んでいるのは一万六三〇〇人。居住者が少ないのはどんな理由か訊いてみた。

「特定の所得者層だけの町にならないよう、住宅は高級分譲から市営住宅まで各タイプそろえました。世帯数は目標とした六六〇〇です。人口の方は核家族化などで若干計画より少ないようです」（神戸市役所）

平成一二年度には三九〇ヘクタールが追加。時間が経ち、規模が拡大されたら、人間臭さが漂う"港町"に戻れるのだろうか。

毎日新聞社

▲昭和56年3月に開幕した「ポートピア'81」会場。広さ436ヘクタールは、昭和45年の万国博の5分の1。

朝日新聞社

▲米空母「ミッドウェー」、横須賀入港（6月5日）元駐日大使ライシャワーの発言で表面化した「核持ちこみ疑惑」渦中の入港だったため、革新諸団体などの反対派がボートをつらね、抗議行動を展開した。

朝日新聞社

▲増田明美、日本新（6月7日）東京・国立競技場で行われた第4回アジア陸上競技大会1万メートルで、ロー（ニュージーランド）を破り日本新で優勝。高校3年生だった。

新華社 中国通信

◀胡耀邦主席が誕生（6月29日）中国共産党六中全会で近代化をめざす胡、鄧小平を中心とする新体制が確立。文革否定の「歴史決議」採択。かつて毛沢東に登用された華国鋒主席は副主席に降格された。

朝日新聞社

◀過激派ゲリラ、運輸庁舎焼く（6月8日）東京・千代田区霞が関の庁舎脇に停車してあった幌つきトラックから火炎が吹き出し、建物の壁面を焦がした。車の脇に「ミッドウェー寄港阻止、中核派」と染め抜いた旗があったことなどから、中核派の犯行と断定された。

AP/WWP

▲パリ人肉事件の日本人留学生逮捕（6月15日）求愛を拒否されたオランダ人女性を殺害、死体の一部を食べた。犯行時、心神喪失状態にあったとして不起訴になった。

朝日新聞社

▶白昼の通り魔（6月17日）東京・深川の路上で幼児を連れた母ら4人が包丁で刺されて死亡、さらに二人が重軽傷。写真は連行される犯人。覚醒剤の常用者だった。

昭和56年6月

1（月）●大相撲一行一一一人、メキシコ・米巡業に出発。
2（火）●横浜開港資料館（館長・遠山茂樹）、開館。
3（水）●日本フィル再建支援の「一万五千人大演奏会」。
●東急、首都圏地価は五年間で二倍強と発表。
4（木）●政府、カナダに乗用車輸出自主規制を通告。
●横須賀で翌日入港の「ミッドウェー」入港阻止大集会。九二〇〇人参集し、県知事も挨拶。
5（金）●衆院内閣委で自公民が金鵄勲章復活請願採択。
6（土）●ベビーホテルの九四％に欠陥、と厚生省発表。
7（日）●イスラエル軍、イラクの稼働前原子炉を空爆。
8（月）●通産省、テクノポリス候補一六都市を決定。
9（火）●改正商法公布。総会屋への利益供与を禁止。
10（水）●井上ひさし・木下順二ら、政・財・官界の教科書非難に抗議する署名運動を開始。
11（木）●食管法改正公布。米穀通帳廃止、贈答自由化。
12（金）●国公立大の入学辞退者が一割超すと文部省。
13（土）●米カリフォルニア大が日本の医療機関に一体七〇〇〇ドルで腎臓提供を申し入れと判明。
14（日）●柏市で中三の少年が小学六年の女子を殺害。
15（月）●パリ警視庁、オランダ人女子学生を殺害し肉片を食べたパリ大学の日本人留学生を逮捕。
16（火）●上野動物園入場者はパンダのランラン・カンカン死後、年間一〇〇万人ずつ減少と新聞に。
17（水）●東京・深川で通り魔殺人。母子ら四人が犠牲。
18（木）●本島長崎市長、核保有国軍艦の長崎入港拒否。
19（金）●航空自衛隊、米軍と空中戦合同訓練と発表。
20（土）●共産党、静岡県立高で入学寄付金強制と発表。
21（日）●三五歳の室伏重信、ハンマー投げで一〇年ぶりに自己の持つ日本記録を更新。
22（月）●北海道屈斜路湖畔の土産物店店主が飼い熊に襲われ即死。三頭を射殺。
23（火）●アラスカのマッキンリー山で遊覧機墜落。新婚旅行の日本人四人死亡。
24（水）●朝日新聞社、米軍横田基地を空撮。「最も危険な爆発物」を示す表示つき倉庫を撮影。
25（木）●長嶋茂雄、北京で中国選抜チームを指導。
26（金）●新秋田空港、開港。東京から一番機到着。
27（土）●阪神高速道路の大阪―神戸間が全通。
28（日）●イランのイスラム共和党本部を反体制派が爆破。書記長や国会議員ら七九人死亡。
29（月）●中国共産党六中全会、華国鋒主席辞任、胡耀邦主席昇格。文化大革命を全面否定。
30（火）●完全失業率が二二年ぶりの高率と閣議報告。
●カシオ計算機、日英音声電子翻訳機を発表。

ベストセラー

『人間万事塞翁が丙午』で青島幸男が直木賞獲得！

黒柳徹子の『窓ぎわのトットちゃん』が超ベストセラーになって、タレントが書いた本は売れるという印象を与えたが、青島幸男の『人間万事塞翁が丙午』もやはり売れた。テレビで"いじわる婆さん"を当たり役としていた青島の自伝的小説で、舞台は東京下町。戦争をはさんだ数十年間の人間模様を描いて、昭和五六年上半期の直木賞を受賞した。

主人公は警視庁の中に売店を持つような、下町では名門の仕出し屋に"嫁"に来たハナ。話は昭和一二年の秋、ハナの夫である"おとうちゃん"に突然召集令状が舞いこむところから始まる。そして、物資・食料不足の戦時下や、戦後混乱期の生活を経て、"おとうちゃん"が脳卒中であっけなく亡くなるまで、話はテンポよく進む。タレント・青島幸男の話術が存分に発揮された小説でもあった。

一方、一橋大学法学部の学生だった田中康夫の『なんとなく、クリスタル』もベストセラーになり話題となったが、こちらは、この頃の東京をそのままグラフィックに展開してみせたような小説だった。ヒロインはモデルをしながら大学にかよう女子大生。時代の最先端を走る彼女の周囲に現れる、ものや場所などあらゆる固有名詞がそのまま記され、しかもそのひとつひとつに詳しい注をつけて、時代の様子を浮き彫りにした。

また、これまでになかったハウツー本として、馬場憲治の『アクション・カメラ術』がベストセラーになった。女性の下半身をねらった盗み撮りやヌードなど、多数の作例も刺激的だったが、プロカメラマンによる"教本"でなく、きわめて現実的なハウツーを真剣に語る著者のカメラ術が、若者の共感を呼んだ。

▲『人間万事塞翁が丙午』（880円）

▲『なんとなく、クリスタル』（880円）

▲『アクション・カメラ術・1』（800円）

●昭和56年のベストセラー

順位	書名（著者／出版社）
1位	『窓ぎわのトットちゃん』（黒柳徹子／講談社）
2位	『人間万事塞翁が丙午』（青島幸男／新潮社）
3位	『なんとなく、クリスタル』（田中康夫／河出書房新社）
4位	『神戸ポートアイランド博覧会公式ガイドブック・マップ』（神戸ポートアイランド博覧会協会／神戸新聞出版センター）
5位	『アクション・カメラ術（1・2）』（馬場憲治／KKベストセラーズ）
6位	『この愛いつまでも』（加山雄三／光文社）
7位	『白ゆりの詩』（創価学会婦人部編／聖教新聞社）
8位	『ノストラダムスの大予言（1〜3）』（五島勉／祥伝社）
9位	『新・頭のいい税金の本』（野末陳平／青春出版社）
10位	『叱り方の上手な親下手な親』（田中澄江／青春出版社）

全国出版協会出版科学研究所

スターと名場面

時代が求めた"癒し"の映画 淡々と心にしみた「泥の河」

経済社会の急ピッチな進展に疲れた心身を癒すような映画が、この年話題をさらった。新人・小栗康平監督の「泥の河」がその代表的作品で、モノクロームの画面に昭和三一年当時の水のある町をしっかりと映し出した。大阪は安治川の河口にある町が舞台で、貧しいながらも心をかよい合わせる子どもたちのナイーブな心情が淡々と描かれ、心にしみるような作品となった。

また、脚本家・倉本聰が高倉健のために書き下ろした「駅／STATION」（降旗康男監督）は、雪の北海道を背景に、男女の機微を映像で表現し、ほろりとさせた。しかも、オリンピック代表候補にまでなった名狙撃手。酒場をいとなむ、やはりひとり身の女と出会い、互いの孤独を癒すのだが……。

こうした人情ものとは別に、耽美的な映画「陽炎座」（鈴木清順監督）もヒットした。荒戸源次郎が、前年の「ツィゴイネルワイゼン」に続いてプロデュースし、移動式ドームで上映した作品。泉鏡花の幻想世界を、鈴木清順ならではの絢爛豪華な映像にしてみせた。

この年、ほかに次のような作品が公開された。かっこ内はおもな出演者。「遠雷」（永島敏行）「ブリキの太鼓」（ダービット・ベネント）「エレファント・マン」（ジョン・ハート）

キネマ旬報社提供

▲「泥の河」で、子どもたちの生き生きとした日々を演じてみせた、左から柴田真生子、朝原靖貴、桜井稔。

東宝提供

▶「駅／STATION」から。雪の町で酒場をいとなむ、孤独な女を絶妙に演じてみせた倍賞千恵子（右）と、彼女と心をかよわせる刑事役の高倉健（左）。

キネマ旬報社提供

▲「陽炎座」の妖しい世界で、独特の存在感を示した松田優作（左）と大楠道代（右）。

モノ語り'81

"イメージ"を打ち破る商品開発で大ヒット！「ポスト・イット」「中華三昧」「せんねん灸太陽」

▲"なめんなよ"で大ブーム　猫に不良っぽい学生を演じさせた写真と、その裏に書かれた"なめんなよ"という表現で、「なめ猫」なる愛称を得たカードが、トライエックスから1枚100円で発売され、爆発的に売れた。女子高生から小学生まで、幅広い人気を呼び、ついに海外にまで進出し、特異な社会現象として注目された。

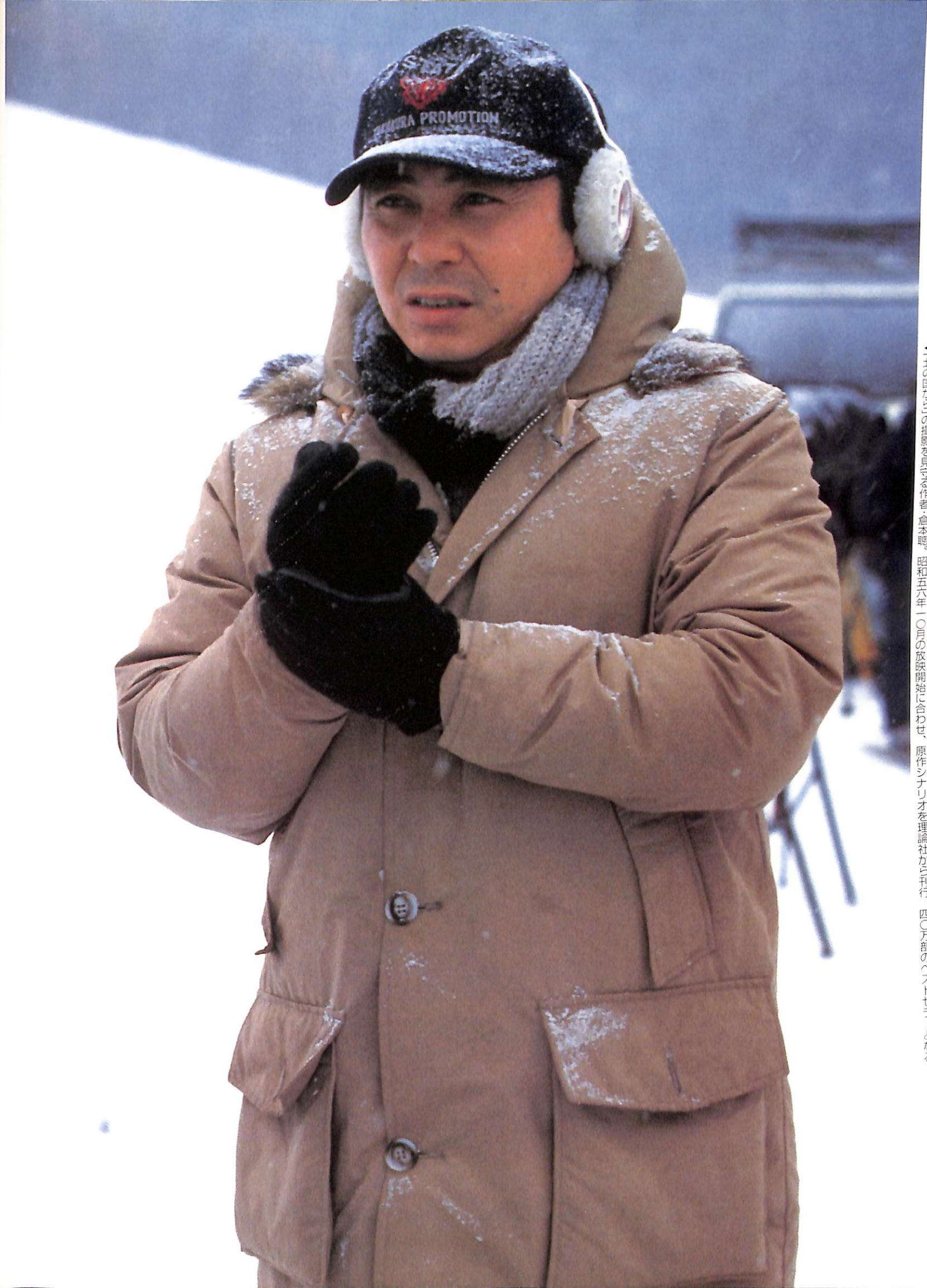
▲オフィスを大きく変えた糊つきメモ用紙　アメリカのスリーエム社で、数々の困難を克服して開発された、糊つきメモ用紙「ポスト・イット」が、住友スリーエムから発売された。4つのタイプで価格は250円〜350円。当初、アメリカでのヒットにもかかわらず、日本ではそれほど評判にならなかったが、ユーザーからの要望で、付箋紙タイプのものを作ったところ、これが伝説的な大ヒット商品となった。今では付箋と言えば「ポスト・イット」がイメージされるようにさえなっている。

▼高価な即席麺がヒットした　即席麺の老舗・明星食品が、高級即席麺「中華三昧」を発売して、即席麺は安いという概念をくつがえした。醤油味の広東風、塩味の北京風、味噌味の四川風の3種類があり、どれもノンフライの平打ち縮れ麺でコシがあることを特長としていた。ほかの即席麺が1個70円の時代に1個120円で市場に打って出て、たちまち年間100億円超の大ヒット商品になった。

◀▼衝撃的だった青と白のストライプ歯磨き　口臭を防ぐアクアブルーと、歯を白くするホワイトペーストが、ストライプ状に出てくる「アクア・フレッシュ」がサンスターから160グラム入り250円（80グラム入り150円）で発売された（現在は3色ストライプ状でスミスクライン・ビーチャム製薬が発売）。見た目も機能も画期的な歯磨きで、評判を呼んだ。

▼火を使わない画期的なお灸が登場　体のツボを刺激して健康を保つとされてきたお灸だが、熱くて跡が残るという欠点を抱えていた。そこで製造元のせんねん灸は、使い捨てカイロの発熱システムに着目し、火を使わずワンタッチでツボに貼れる「せんねん灸太陽」を開発、千年堂（現・セネファ）から24個入り1700円で発売し、お灸のイメージをがらりと変えるヒット商品とした。

▲下着のカラー化を定着させたパンツ　ワコールがカラフルな下着「シェイプパンツ」（16色、各2000円）を発売し、話題を呼んだ。翌年には後ろ姿の女性がカラー違いの下着だけになる衝撃的なコマーシャル（写真参照）を背景に、ヒット商品となった。このヒットで下着のカラー化は定着したと言える。

▶ウーロン茶ブームに拍車がかかった　肥満を防ぐ健康的なお茶としてブームになっていたウーロン茶を、缶入り飲料とした「サントリー缶入りウーロン茶」がこの年の年末にサントリーから1本100円で発売され、ロングセラー商品になった。中国福建省産のウーロン茶の葉のみを使用した本場ものであることを強調し、文字表記にも中国風に"烏龍茶"を採用、本場の印象を強めることに成功した。

人物クローズアップ

倉本聰（四六）

富良野の自然と、純と蛍の成長 ドラマ「北の国から」放映開始！

昭和五六年一〇月九日、フジテレビで倉本聰（四六）脚本のドラマ「北の国から」の放映が始まった。ドラマは毎週金曜日の午後一〇時から一時間、翌五七年三月二六日まで、合計二四回にわたって放映された。初回の視聴率は一六・四％、平均視聴率は一四・八％を記録した。

撮影は前年の九月に始められ、終了したのは放映が始まった五六年の一〇月だった。ともすれば短期間で作られることの多いテレビドラマにあって、一三ヵ月間の長期ロケは、それまでの常識をくつがえす異例のものだった。春、夏、秋、冬。移り変わる大自然の風景の中で、嬉々として動きまわるスタッフと俳優陣。東京と富良野を往復する俳優たちを、地元の人々が温かく支える。そして作者の倉本聰は、シナリオをテレビドラマを通して文学作品に作り上げ、シナリオ文学という領域を切り開くのである。

物語は、離婚した中年男が二人の子どもを連れ、東京から故郷の北海道・富良野に戻ってくるところから始まる。男の名は黒板五郎、二人の子どもは純と蛍。北海道の広大な大自然を背景に、新たな人生に挑もうとする親子。それを暖かく、包みこむような優しさで励まし、助け合おうとする人たち……。

倉本聰は、昭和九年一二月三一日（戸籍は一〇年一月一日）、東京市渋谷区代々木生まれ。三〇年、東大文学部美学科入学。三四年、ニッポン放送に入社。おもにラジオドラマを手がけたが、そのかたわら、会社に内緒で映画のシナリオなどを書いていた。三七年、ニッポン放送を退社、シナリオライターとして独立した。

最初は映画のシナリオを書いたが、その後テレビに移り、四二年に「文吾捕物絵図」（NHK）、四五年に「君は海を見たか」（NTV）、四六年「おりょう」（CBC）、「挽歌」（NHK）、四七年「赤ひげ」（NHK）とたてつづけに名作・ヒット作を発表。シナリオ作家としての地位を確立した。四九年、NHK大河ドラマ「勝海舟」の放送途中に演出上の問題で局側と衝突。北海道に〝遁走〟して、それが北海道へ居を移すきっかけとなった。

五二年八月、北海道富良野に永住を決意。そして、この北海道での生活体験が、名作「北の国から」を生むことになったのである。

放送評論家の志賀信夫氏は、テレビドラマ「北の国から」が与えたインパクトを、次のように述べる。

「高度成長に疲れ、組織に疲れた人々が、大自然の中で自分一人の手で生きていこうとする主人公たちに、人間の基本的な生き方を見つけ、そこにひとつの癒しを求めたのではないでしょうか」

倉本自身は、このシナリオを書くことになった背景をこう語った。

「北海道に移住して、東京からの一方的な情報に不公平を感じましてね。北海道には、こんな生き方をしている人間がいる、という情報を発信したかった。それは、知識よりも知恵で生きるという生き方です」

以降、「北の国から」は続編がスペシャル番組として放送され、画面の中で成長していく純と蛍を、視聴者はまるで自分の子どもを見守るようにして見続けている。

▲「北の国から」の主人公たち。左から純（吉岡秀隆）、蛍（中島朋子）の兄妹と、その父親・五郎（田中邦衛）。

◀「北の国から」の撮影を見守る作者・倉本聰。昭和五六年一〇月の放映開始に合わせ、原作シナリオを理論社から刊行、四〇万部のベストセラーとなる。

決定的瞬間

サダト暗殺の四五秒間！イスラム過激派の凶弾に観閲席は血の海と化した

それは、わずか四五秒間の出来事だった。一九八一年一〇月六日午後一時（日本時間午後八時）すぎ、二年前の一九七九年にはイスラエルとの平和条約に調印し、中東和平を積極的に押し進めてきたエジプトのアンワル・エル・サダト大統領が凶弾に倒れたのである。

その日は、エジプトが一九七三年の第四次中東戦争の緒戦で初めて仇敵イスラエルを破った戦勝記念日で、恒例の軍事パレードが、カイロ郊外のナスル・スタジアムで午前一一時から行われていた。

サダト大統領は、観閲席の中央最前列に座り、エジプト国軍の精鋭、数千人の将兵が参加したこのパレードを眺めながら、誇らし気な笑みを満面にたたえていた。その左右にはムバラク副大統領（現・大統領）、ガザラ国防相が陣取り、まわりの席は、エジプト政府、軍の高官、各国外交官らで埋めつくされていた。

午後一時、観閲席中央前を行進中の砲兵車両部隊のうち観閲席に一番近い一両が突然停車、助手席から一人の将校が飛び降りた。しかし、誰もがその将校は大統領に敬礼するために車から降りたものと思いこんでいた。

人々の興味は会場の上空にあった。ちょうどその時、鋭い金属音を轟かせながら姿を現したフランス製ミラージュ戦闘爆撃機六機がみごとなアクロバット飛行を披露し、赤、白、緑の煙でエジプト国旗を大空に描いていた。

事態は一変した。ジェット機の爆音にまじり、「バン、バン」とはじけるような銃声がし、車両から降りた将校が、観閲席の大統領めがけて手投げ弾を投げつけると、その車両の荷台から三人の兵士が次々に飛び降り、自動小銃を乱射しながらサダト大統領に襲いかかった。

あまりにも突然のことに、警備陣はなすすべもなかった。首、胸、腰などに銃弾を撃ちこまれたサダト大統領は、無残にも観閲席に崩れ落ちたのである。

その後サダト大統領は、観閲台裏で待機中のヘリコプターでカイロ南部のマーディ陸軍病院に運ばれたが、同日午後七時五〇分（日本時間七日午前二時五〇分）、エジプト政府から正式に大統領の死亡が発表された。六二歳であった。

惨劇の現場は血塗られていた。大統領を守るため身を挺したアブジル・ハーフェズ大統領個人秘書は即死。この事件による死者は一一人、負傷者は三八人にもおよんだのである。

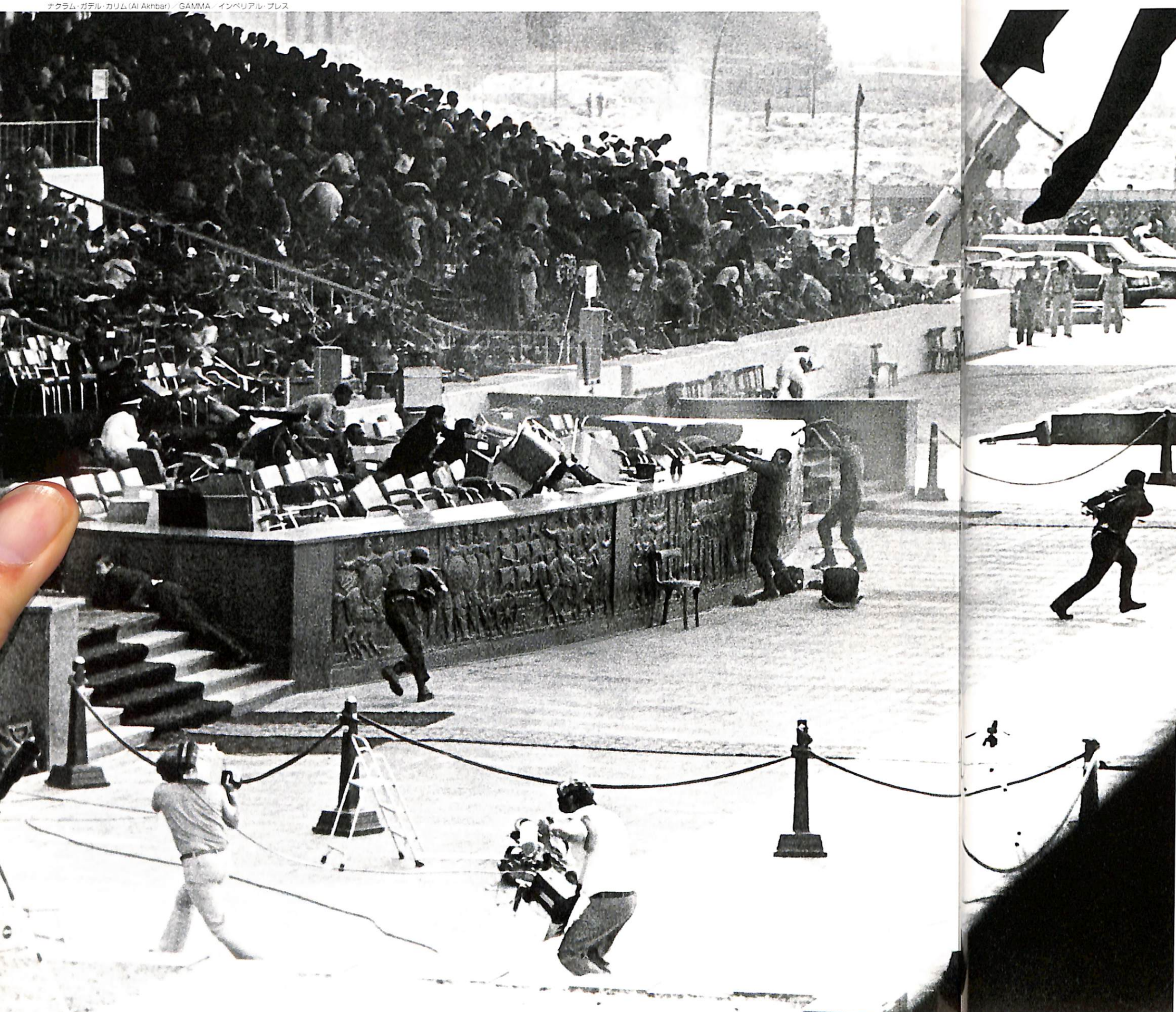
襲撃実行犯四人はその場で逮捕された。エジプト国防省は「主犯はハレード・マハマド・エスランブリ砲兵中尉で、狂信的イスラム教徒の少数グループによる単発的犯行」と発表した。

しかし、事件の背後関係についてはさまざまな憶測が流れた。事件直後、「エジプト解放のための独立組織」と名乗るグループがレバノンのベイルートで犯行声明を出し、その後、事件の黒幕として「タクフィール・ワル・ヒジラ」という過激なイスラム原理主義グループの名も浮かび上がった。

サダト暗殺の背景には、アメリカの後押しでイスラエルとの和解を追求するエジプトへの、アラブ諸国の危機意識があった。そして、一九七九年二月のイラン革命を震源とするイスラム復興をめざす巨大な潮流と、サダトの路線はあいいれないものであった。サダトを引き継いだムバラク政権とイスラム原理主義過激派との対立はさらにエスカレートし、一九九七年一一月、ルクソールでの観光客襲撃事件にまで尾を引くことになる。

GAMMA　インペリアル・プレス

▲凶弾に倒れる直前のサダト大統領。エジプト国軍司令官の紺色の元帥服姿だった。右側はガザラ国防相

ナクラム・ガデル・カリム（Al Akhbar）／GAMMA／インペリアル・プレス

▲サダト大統領暗殺の現場となった観閲席。恐怖に駆られた人々が急いで避難しようとする間も、暗殺者たちは背伸びしながら銃を高くかまえ、ボックス内に集中射撃をあびせた。

美の出会い

失われゆく自然への賛嘆！三〇代若手写真家の力作で「ネイチャーフォト」全盛に

▲姉崎一馬『はるにれ』より。この写真集で有名になったハルニレの樹は、豊頃町の文化財に指定された。　姉崎一馬

昭和五六年は、動物や植物などの自然をテーマにした写真集が五〇点以上も出版された年である。それまで「科学写真」「生態写真」などと呼ばれていた写真のジャンルが、「ネイチャーフォト」と呼ばれ、一般に親しまれるようになったのも、この頃からである。

この年に出版されたおもな写真集としては、岩合光昭（三一）『海からの手紙』、姉崎一馬（三三）『はるにれ』、海野和男（三四）『飛べオオムラサキ』、江川正幸（二六）『下北半島のサル』、熊田達夫（三二）『草木抄　四季』、桜井淳史（三五）『サケ　母なる川に帰る』、宮崎学（三二）『鷲と鷹』などがあげられ、二〇代から三〇代前半の若手写真家の台頭が著しかった。

アメリカの生物学者レイチェル・カーソンの『我らをめぐる海』に感銘を受けた岩合は、海と陸のかかわりを動物写真で表現したいと「アサヒグラフ」に企画を持ちこみ、ガラパゴス島、カリブ海、北極、南極などを取材。同誌に昭和五三年から三年間にわたり連載され、この年、『海からの手紙』（朝日新聞社）としてまとめられたのである。岩合は昭和五五年、動物写真家としては初めて木村伊兵衛賞を受賞した。

北海道十勝郡の豊頃町にある一本のハルニレを、一年間にわたり定点から撮影した姉崎一馬は、『はるにれ』（福音館書店）を児童向けの本として出版した。たった一本の樹の一年を撮影した写真一八枚からなるシンプルな構成の本ではあったが、ハルニレをとりまく季節の移り変わりが、壮大なドラマとなって見るものを感動させ、おとなたちの間にも多くの共感者を得た。本書はまた、多くのアマチュア・カメラマンを十勝に呼びよせることにもなった。

サケの人工孵化がさかんになったこの頃、自然とともに生まれ自然の中で死んでいくサケの姿を撮りたいと願った桜井は、北海道の知床の川で、一一月の水温摂氏三度の水中で撮影を続けた。こうして世に出た『サケ　母なる川に帰る』は、国内だけでなく海外でも注目された。

また、日本で繁殖しているワシ・タカ類の全一六種を撮りたいと思いいたった動物写真家の宮崎は、北海道から沖縄まで、一五年の歳月をかけて撮影した。翌五七年、宮崎は日本写真協会新人賞を受賞する。

自然科学写真協会の理事長・竹村嘉夫氏は、一九八〇年代を「ネイチャーフォトの時代」だと言う。その芽生えは一九五〇年代にあり、六〇年代が草創期、七〇年代が確立期だとする。『カラスの四季』（昭和三一年）の周はじめ、『カメラ動物記』（昭和三四年）の岩合徳光、『高山蝶』（昭和三四年）の田淵行男、『日本野生動物記』（昭和四三年）の田中光常ら先輩たちの奮闘とさまざまな撮影技術の開発の積み重ねが、八〇年代の若手写真家たちに引き継がれていった。昭和四八年に平凡社から月刊の動物グラフ誌「アニマ」が創刊され、宮崎をはじめ多くの新人カメラマンの発表の場ができたことも、彼らを大いに発奮させた。

ネイチャーフォトが普及していった時期は、皮肉にも経済成長や人口増加にともなう自然環境の悪化が、地球規模で広がっていった時代でもある。日本に限っても、都市近郊の自然破壊は著しく、身辺から野草や昆虫、小動物が激減していった。佐渡のトキをはじめ、絶滅の危機にさらされた生物が、マスコミに取り上げられるようにもなった。生活の周辺から自然が失われていくにつれ、人々の自然志向が強まっていった。そうした人々の欲求にこたえるように、ネイチャーフォトは野生の動植物のありのままの姿、生存を賭けた生のドラマ、自然の美の世界をリアルに訴え、自然に対する驚異と賛嘆の声を呼び起こしたのである。

「ネイチャーフォトがいちばん元気だった」一九八〇年代を回想して、ネイチャー・プロダクションの代表・三谷英生氏は次のように感想をもらした。

「写真集は三〇〇〇部くらいが普通だが、当時は一万とか一万五〇〇〇部という単位で発行されたものです。高価だったカメラやフィルムが入手しやすくなり、この頃、アマチュア・カメラマンがふえて底辺が広がったことも、大きな要因でしょう」

▲桜井淳史『サケ　母なる川に帰る』より、サケの産卵シーン。サケがのぼってくる川にはヒグマも現れる。水温3度の川の中で待つのは、1時間が限界だという　桜井淳史

▲岩合光昭『海からの手紙』より。ケープシロカツオドリの求愛活動。ほかにペンギン、クジラなど、世界各地の海洋に生きる動物の写真85点を掲載。　岩合光昭

20世紀博物館

倉敷市瀬戸大橋架橋記念館

太鼓橋をイメージした建物に詰めこまれた〝橋と人間〟の諸相

岡山・倉敷市

桑原茂夫

「倉敷市瀬戸大橋架橋記念館」、通称「橋の博物館」に着くなり、ど肝を抜かれた。ドーム状の建物の上を親子連れや若いカップルが歩いているのだ。まるでだまし絵に見るような光景だったが、よく見ると建物のカーブにそって階段が刻まれているのだった。さっそく階段を上がってみると、てっぺんの方も階段状になっていて、楽に立っていられる。奇妙な建物だが、これは大阪の住吉大社の太鼓橋をイメージして作られたのだった。

瀬戸大橋架橋記念館がなぜ太鼓橋でなければならないのか。可児文夫館長の話では、魂鎮めのためなのであった。架橋を記念するなら、たとえば、巨大な杭を何本も打ちこまれた瀬戸内海に浮かぶ島など、自然の怒りをまず鎮めるべきであるという考えに基づき、この建物自体を神社の一部に仕立てたのである。

太鼓橋の裏側、つまり館の内側から言うと球形のカーブを描いた天井には、日本中世の渡り職人や旅芸人、遊行僧などがカラーで描かれている。橋の下を生活の拠点にしながら、技術や芸術の腕を磨いた人たちである。

このように、瀬戸大橋という、ハイテク時代を象徴する巨大建造物に、人間の営みとともにある〝橋〟のイメージを付与しようとした博物館なのだ。

この天井画の下には瀬戸大橋の精密な模型があるが、その脇に大きな白い橋が再現されている。一六世紀のベネチアで架けられるはずだった「リアルト橋」(現存のものとは別)だ。当時の人気建築家、パラディオが設計したもので、橋の上に複数の通路と数十軒の店舗をおくというにぎやかなものだったが、技術と費用の面から実現されなかった。そのリアルト橋をここで再現しようとしたのも、橋が人間の営みとともにあることをあらためて認識しようとしたためだ。

そしてこの橋の上に上がると、橋の歴史などが、パネルやジオラマで展示されており、代表的な橋の模型も同じフロアにおいてある。古代ローマの巨大な水道橋であるスペインの「セゴビアの橋」や、一三世紀の初頭に架けられた「ロンドン橋」、世界で最初の鉄の橋、イギリスの「コールブルックデール橋」などである。

ほかにも、葛飾北斎が描いた「夢の百橋」を、なんとそのまま大きな箱庭に配置したコーナーもあって、想像力を大いに刺激してくれる。

また特筆すべきは、建物の外にある「橋の公園」だ。記念館と一体的に管理・運営されているのだが、無料で遊べる公園で、ここに日本各地に点在していたとされる一一種類の橋が架けられている。ひとつひとつは短い橋だが、「吊り橋」はもちろん、小舟の上に板を渡して作る「船橋」や屋根のある「家橋」など、すべて実際に渡ってその感触を味わうことができる。さっと通過するだけが〝橋〟ではないことを、いろいろな角度から感じさせてくれる、まさしく「橋の博物館」なのであった。

▲手前に見えるのは、瀬戸大橋の500分の1精密模型。後ろは16世紀初頭に設計されたが実現せず、幻に終わったベネチアのリアルト橋の模型。 倉敷市瀬戸大橋架橋記念館(4点とも)

▼博物館全体が太鼓橋となっていて、人が屋根を〝渡る〟ことができるようになっている。

▲古代ローマ帝国が作ったスペインの「セゴビアの橋」の模型。上部が水路となっている水道橋で、御影石を高々と積み上げた魔術的な橋とされている。

◀古代インドのカシミールの橋の模型。石を詰めた舟を沈めて、その上に橋脚を作り、さらに橋桁を突き出してつないでいる。

●倉敷市瀬戸大橋架橋記念館
倉敷市児島味野二―二―三八
☎〇八六―四七四―五一一一
JR児島駅から徒歩一〇分
開館時間=九時～一七時
休館日=月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
入館料=一般二一〇円

ラジオ、口コミが火をつけた 732万5000部の超ベストセラー! 『窓ぎわのトットちゃん』はどう読まれたか

窓ぎわのトットちゃん

黒柳徹子

▲小学校1年生の頃の黒柳徹子。この公立小学校を1年で退学になってしまう。

◀転校した私立トモエ学園の思い出を綴った、自伝的エッセイ『窓ぎわのトットちゃん』。挿絵は、いわさきちひろの作品から選んだもの。定価1000円。

タレント・黒柳徹子の書いた『窓ぎわのトットちゃん』が、爆発的なベストセラーとなった。彼女が学んだ、戦時下に奇跡的に存在していた、自由主義教育の学園の思い出を綴った同書は、いわさきちひろのメルヘンタッチの挿絵ともあいまって、まさに引っ張りだこになったのである。売り上げはこれまでに七三二万部を超え、今も売れ続けている。

毎週一〇万部の増刷 一年で四五〇万部!

「あんな忙しさは前にも後にもあの時だけ。ほとんど毎週、一〇万部の増刷が入ってきた。伝票なしで、工場に増刷の指示を出すという、常識はずれの特例で対処したほどです」

当時、共同印刷で、矢継ぎ早の増刷の

◀タレントとしてテレビで活躍する一方、黒柳は1984年からユニセフ親善大使としてアフリカ各国を歴訪、飢餓救済を世界に呼びかけている。写真は、1987年モザンビークにて。

田沼武能

注文をさばいた大谷恒夫さんの思い出だ。

文庫版や英文版まで含めると、現在までに、七三二万五〇〇〇部という空前絶後のベストセラーとなった『窓ぎわのトットちゃん』（講談社刊）のことである。『トットちゃん』の発売は、昭和五六年三月一一日。著者はタレントの黒柳徹子（四七）だった。

毎週一〇万部の増刷という異常なペース、ピークの第四三刷は、一度になんと三〇万部というとてつもない数字を記録している。だが、編集担当の岩本敬子さんは、「初版は一万五〇〇〇部にしようかと悩んだすえの二万部。一〇万部まで届いてくれれば」と踏んでいた程度だった。しかも当初は「週に一度、二万部かかる増刷を繰り返す程度」にすぎなかった。そこそこの売れ行きとはいえ、出版史上空前の大ベストセラーになるなど、到底信じられない立ち上がりだったのである。

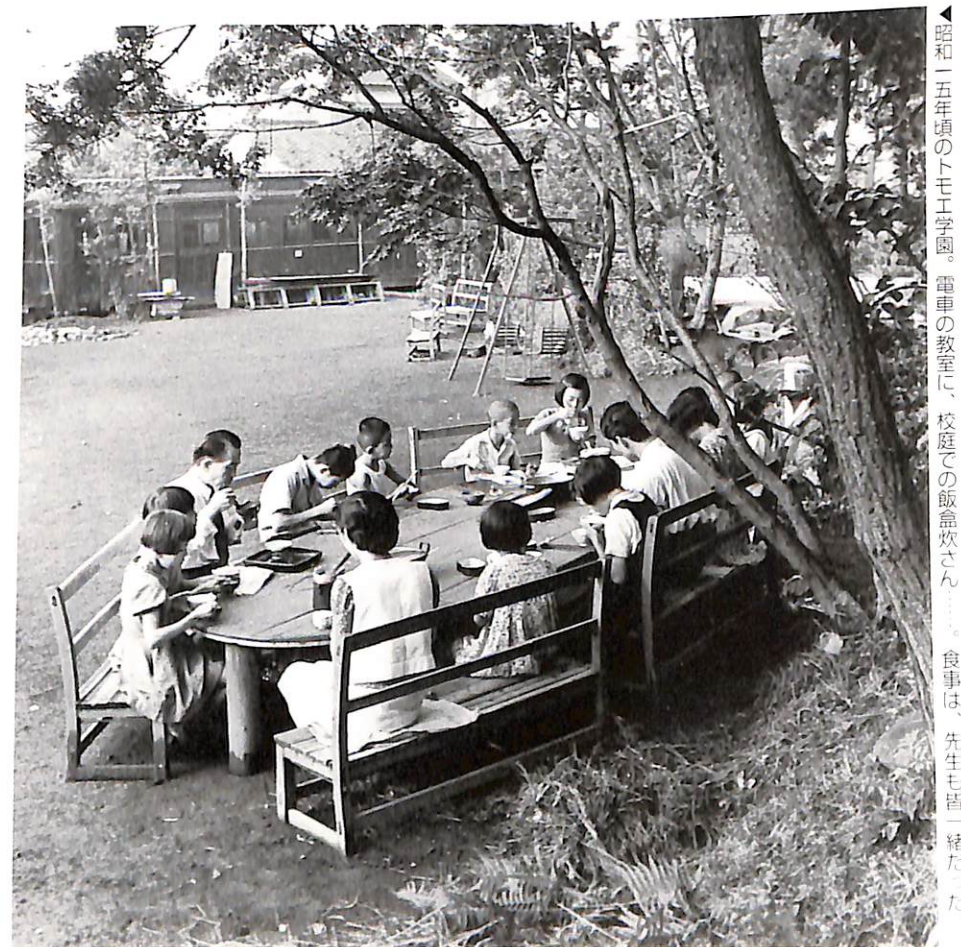
だが、突然火のついたような注文ラッシュが起きた。そのきっかけは発売から約一ヵ月半ほどたった昭和五六年四月末に、TBSラジオ「久米宏の土曜ワイドラジオ東京」に、黒柳が出演し、二時間にわたって『トットちゃん』を朗読したことからだった。番組終了の一時間ほど後から、講談社の電話が鳴り続けた。それはまさに爆発的だった。

それを契機に関係者は一大パニックに見舞われる。挿絵の微妙な色を生かすための特殊な上質紙、サンフラワーが不足し、きりきり舞いさせられた。宣伝用に用意した「五〇万部突破」のポスターの完成時には、すでに八〇万部を突破していた。製本が追いつかず、時には一二ヵ所の製本会社に分けて作業した。これは、どれも前代未聞のことだった。

「寅さん」と共通する〝トットちゃん〟人気

『窓ぎわのトットちゃん』は、黒柳が〝落ちこぼれ〟だった幼少時代の思い出を綴った作品である。最初の小学校では、厄介者扱いのうえ、退学させられた経過、そして転校した私立「トモエ学園」の、のびのびとした生態を描いていた。戦時中の息の詰まる生活の中で、個性を尊重する自由主義的な教育が、東京で行われていたことも、新鮮な驚きを与えた。黒柳は払い下げの電車の校舎で、小林宗作校長と出会う。「君は本当はいい子なんだよ」と言う校長に、黒柳は安心し、自信を持ち、校長に全幅の信頼を寄せた。いわさきちひろのメルヘンタッチの挿絵も人気に輪をかけていた。ちなみに装丁はイラストレーターの和田誠。黒柳自身は、「ノンフィクション、メルヘン、間接的な教育論」と自著を評した。

この大ベストセラーが生まれた要因の第一は、もちろん本自体の力だった。

最初に口火を切ったのは二〇代、三〇代の若い母親から。彼女らの口コミによるものだった。母親たちはブラウン管の人気者・黒柳がかつて〝落ちこぼれ〟だったことを知り、驚き、親近感を深め、そして偏差値教育の中で失われた、温かい人間関係を持ったトモエ学園にあこがれていく。次に拡がった読者層は子どもたちだった。この年の夏休みには、全国で無数の『トットちゃん』に対する読書感想文が提出された。そこには「校長先生と話ができる学校がうらやましい」「あんな学校があったらいいな」という感想が記されていた。だが、若い母親たちは、同時にわが子を受験戦争に駆りたてている〝張本人〟でもあった。だから当時、〝トットちゃん〟ブームは、偏差値万能教育に加担していた彼女らの「罪滅ぼし」からだ、とも指摘された。

◀昭和一五年頃のトモエ学園。電車の教室に、校庭での飯盒炊さん……。食事は、先生も皆一緒だった

ブームの第二の立て役者はマスメディアの力だった。出版ジャーナリストの塩沢実信氏は「ベストセラーは、売れ行きが鋭角的に伸び、一転、急降下するのが普通。『トットちゃん』も発売一・二週にピークを迎え、退潮のきざしが見えた。その時点で大新聞などに複合的な宣伝を打って売れ行きを高原状態で維持した。この方式は、その後も踏襲されますが、その草分けが『トットちゃん』でした」と言うのである。この年のベストセラー上位二〇冊のうち一四冊はテレビに関係する著者の作品で占められていた。

さらに〝トットちゃん〟ブームと「寅さん」人気は共通の要素があるという声も上がった。下町と山の手の違いはあるが、両者に共通する世界は、高度成長の過程で切り捨てられた、古き時代の温かな人間関係だった、というのである。ひからびた人間関係に本能的におびえ、憧れの〝絵物語〟にひたっていったという解説だった。

この時代のひとつのキーワード「個性の時代」を手がかりに〝トットちゃん〟ブームを分析する意見もあった。きわめて「個性的」な『トットちゃん』をマスメディアの勧めるままに、皆と同じように読み、同じ感動を味わおうとした、というのである。「個性の時代」という名の「非個性的感性」が〝トットちゃん症候群〟の陰の主役だったというわけだ。

さまざまな解説や謎解きをよそに、『窓ぎわのトットちゃん』は、今も年に数万冊のペースで売れ続けている。

7~8月

フォト＋日録で再現する365日

▲元運輸政務次官・佐藤孝行に懲役求刑(7月14日)検察はロッキード事件での受託収賄は明らかとし、二審で執行猶予つき2年の有罪確定。平成9年橋本内閣の総務庁長官に就任、非難をあびて辞職した。

共同通信社

▲利根川支流、堤防決壊(8月24日)台風15号がもたらした大雨で、茨城県竜ケ崎市の小貝川が急激に増水、左岸が約20メートルにわたって決壊した。市内など約2500戸が浸水、関東地方屈指の穀倉地帯が大打撃を受けた。

読売新聞社

▼千代の富士、横綱へ(7月21日)19日の大相撲名古屋場所千秋楽で北の湖を破り優勝。大関3場所で昇進をはたした。26歳。115キロの軽量を速攻でカバーし「ウルフ」と呼ばれた新横綱は、伝達を受け部屋の後輩と推挙を喜んだ。

読売新聞社

▶行革へ第1次答申(7月10日)臨時行政調査会(第2次臨調)が増税にたよらない財政再建をめざしてまとめた。写真は土光敏夫会長(右)から答申を受ける鈴木首相と中曽根行管庁長官。福祉・教育や地方財政に厳しい見直しを迫るものだった。

共同通信社

▲23年ぶり部分日食(7月31日)月によって欠ける部分は沖縄が2割、東京が6割、稚内が9割。台風10号の影響で観測できない地方も多かった。写真は東京のビルと日食を1枚に合成。

読売新聞社

▼異色の芥川賞・直木賞(7月16日)吉行淳之介の妹・理恵(右)は、芥川賞史上初めての兄妹受賞。直木賞の青島幸男(左)は、現職の国会議員として初受賞だった。

読売新聞社

昭和56年7月

1(水)●放送大学学園、設立(60年授業開始)。
●科学雑誌「Newton」創刊。編集長・竹内均。

2(木)●運転免許保有者が一六歳以上の過半数超える
●ILO、校内暴力は世界共通、すし詰め教室や低賃金で教師の心身症が激増と調査報告。

3(金)●豪政府、メルボルン大での講義のため訪豪予定の日高六郎夫妻の入国を拒否。

4(土)●全英テニスでジョン・マッケンロー初優勝。

5(日)●「ニューヨーク・タイムズ」、同性愛者四一人から原因不明の癌発見と報道(初のエイズ報道)。
●東京都議選。投票率は史上最低の約五四%。

6(月)●長崎県沖で元寇時に沈没の蒙古船の調査開始。

7(火)●五円引きで一枚三五円の広告つきはがき発売。

8(水)●古紙暴落で、ちり紙交換業者が価格引き上げ求めトラック七二台で通産省にデモ。

9(木)●神戸商船大、女子への門戸開放を決定。

10(金)●臨調、第一次答申を首相に提出。三公社の民営化、老人医療無料制の廃止など。

11(土)●琵琶湖サミット開催。水質浄化対策を協議。

12(日)●神戸市で湯沸かしの消し忘れから五人中毒死。

13(月)●米軍横田基地の夜間飛行差し止め請求却下。

14(火)●米議会、日系人戦時強制収容の公聴会開始。

15(水)●瀬戸内沿岸一三府県、環境保全計画を発表。

16(木)●芥川賞に吉行理恵、直木賞に青島幸男決定。

17(金)●イスラエル軍、ベイルートのパレスチナゲリラ基地・難民キャンプ爆撃。

18(土)●鹿島灘産のひら貝から食中毒、九九人発病。

19(日)●劇画で『三国志』が二〇年ぶりブームと新聞に。

20(月)●オタワ・サミット、開催。
●ファクシミリでの電子郵便取り扱い開始。

21(火)●千代の富士、大関在位三場所で横綱昇進。

22(水)●首都圏で雷雨。七万戸停電、三七六一戸浸水。

23(木)●山口組組長・田岡一雄、死去。警察、厳戒態勢。

24(金)●体協、外国籍高校生の国体参加承認と通達。

25(土)●警視庁、都内一七ヵ所に「夕涼み道路」設置。

26(日)●福岡市営地下鉄一号線開業。九州で初めて。

27(月)●行管庁、電電・KDDの通信回線開放を勧告。

28(火)●徳島県山城町で男が家族三人殺害、五人に重軽傷を負わせた後、警官を襲撃し射殺される。

29(水)●英チャールズ皇太子、ダイアナと結婚。

30(木)●旅館・ホテルに安全マーク交付と東京消防庁。

31(金)●南海の門田博光、月間一六本塁打の新記録。
●伊ベネチア近郊で日本人団体旅行者を乗せたバスが追突事故。四人死亡、二五人負傷。

▲広島で「ダイ・イン」(8月6日)36回目の原爆記念日を迎えた広島市で、核開発への無言の怒りと抗議をこめて、道路に倒れ伏す若者たちの新しい形のデモンストレーション「ダイ・イン」が登場した。

共同通信社

◀第1回浅草カーニバル(8月29日)東京・浅草の商店街などが、若者客を呼び戻そうと企画した。本場ブラジルのリオのカーニバル優勝チームや、都内のサンバ同好サークルなどから約2500人を招いて、大サンバ大会を開催。13万人の人出で、大にぎわいとなった。

共同通信社

▼石原裕次郎、笑顔でVサイン(8月30日)胸部大動脈瘤手術のため、4月から東京・信濃町の慶大病院に入院中だったが、退院前々日に記者会見。「奇跡の生還」と言われた。昭和62年7月17日、肝臓癌のため52歳で死去。

▶太陽熱発電に初成功(8月6日)香川県仁尾町に電源開発会社が建設し、この年3月の「仁尾太陽博」開幕とともに公開。この日、太陽熱発電では世界で初めて最大出力1000キロワットを達成した。プラントは博覧会閉幕後も稼働したが、昭和59年に解体された。

毎日新聞社

◀「ベンチがアホやから」(8月26日)阪神の江本孟紀投手(34)が甲子園球場の対ヤクルト戦で降板させられ、痛烈な首脳陣批判。責任をとって退団した。写真は10月の引退会見。左は岡崎球団社長。

朝日新聞社

▲向田邦子、台湾の飛行機事故で死亡(8月22日)台北の南西でボーイング737型旅客機が墜落、日本人18人を含む110人が犠牲に。売れっ子脚本家で直木賞作家の向田さんは、取材旅行中だった。

読売新聞社

日刊スポーツ

昭和56年8月

1(土)●住友石炭赤平炭鉱でガス突出事故。三人死亡。

2(日)●新宿コマでミュージカル「ピーターパン」開演。

3(月)●教科書協会各社が自民党に政治献金と判明。

4(火)●政治資金が初めて一〇〇〇億円突破と自治省。

5(水)●電電公社、磁気カード式公衆電話とテレホンカードを発表。

6(木)●原爆記念日の広島で抗議の初「ダイ・イン」。

7(金)●大型店出店に対抗し小売業者が全国連絡組織「スーパー駆け込み寺」を設立。

8(土)●主要企業の夏の賞与は平均四八万円と労働省。

9(日)●「水の週間」を記念する第一回ウォーターフェア・レガッタ、隅田川で開催。

10(月)●米国防長官、中性子爆弾の生産再開と言明。

11(火)●気象衛星「ひまわり2号」打ち上げ。

12(水)●米管制官ストなどで北回り欧州線がストップし、成田空港で開港以来初めて麻痺状態に。

13(木)●米GM社・いすゞ自動車・鈴木自動車、小型車生産で協力するため資本提携に調印。

14(金)●中央薬事審、丸山ワクチンの承認は不適当と答申する。

15(土)●教科書問題を考える市民の会、結成。
●社会党・総評など、千鳥ケ淵戦没者墓苑で初めて独自に戦争犠牲者追悼式を開催。

16(日)●文部省、次年度国立大学部新設認めずと決定。

17(月)●神奈川県、情報公開制度化の報告書を説明。

18(火)●東京で国際障害者年の初の試みとして「十代のボランティア交流集会」開催。

19(水)●米軍機、地中海上空でリビア軍機を撃墜。

20(木)●完全給食実施校の八九%が米食実施と文部省。

21(金)●東京高裁、永山則夫に一審死刑を破棄し無期懲役の判決(58年最高裁が差し戻し判決)。

22(土)●台湾で航空機墜落。向田邦子ら一一〇人死亡。

23(日)●熊本県苓北町の苓北火力発電所建設に反対する町民の会会長、七日間のハンストで衰弱死。

24(月)●竜ケ崎で小貝川の堤防決壊。二五〇〇戸浸水。

25(火)●日ソ、貝殻島周辺の昆布採取再開の協定調印。

26(水)●滋賀県警が国体での皇太子来県に備え精神障害者名簿を集めようとしていたと判明。
●足立区で小六男子が少女三人に連続刺傷事件。

27(木)●車ガソリン消費は一〇年で二二%減と国税庁。

28(金)●テレビ朝日、ベトちゃん・ドクちゃん初報道。

29(土)●第一回浅草カーニバル開催。

30(日)●イラン首相府爆破。ラジャイ大統領ら死亡。

31(月)●専売公社、タバコに製造年月日明示と発表。

◀**オンライン詐取犯送還(9月10日)**端末機を操作し架空口座に1億3000万円を送金・入手した、三和銀行茨木支店預金係の女性(左の後ろ姿)が潜伏先のマニラから強制送還。サラ金返済に困った愛人のため。

▼**名古屋五輪の夢、ついえる(9月30日)**1988年の夏季五輪開催地を決めるＩＯＣ総会が西独で行われ、韓国・ソウルに決定。勝利を信じていた市は呆然。「市民不在」と言われた誘致運動は、6億円の借金を残した。

▲**六価クロム禍訴訟、原告勝訴(9月28日)**日本化学工業社員が肺癌などを患ったのは会社の責任とした訴訟で、東京地裁は被告の過失責任を指摘、10億円の賠償を命じた。

◀**鈴木首相、北方領土視察(9月10日)**自衛隊のヘリコプターで約1時間、歯舞・色丹・国後・択捉の4島を、現職首相として初視察。写真は、歯舞群島目前の納沙布岬に立つ首相(中央)。

▶**山下泰裕五段、二冠王(9月6日)**オランダで行われた世界柔道選手権で、95キロ超級優勝に続き、無差別級でも決勝でポーランドのレシュコ(左)を破り優勝。二冠は大会初。

◀**勝プロ倒産(9月24日)**負債総額12億円。俳優の勝新太郎が昭和42年に設立した映画・テレビ製作会社で、「座頭市シリーズ」は成功したが、前年の「警視—K」の不評が響いた。

昭和56年 9月

- 1(火) ●国際柔道連盟、講道館に反し段位認定を決定。
- 2(水) ●五大都市でタクシー料金値上げ(四三〇円に)。
- 3(木) ●自民党、初の北方領土返還要求総決起大会。
- 4(金) ●公取委、眼鏡安売りの不当表示停止を警告。
- 5(土) ●三和銀行茨木支店の女子行員がオンライン利用し、一億三〇〇〇万円詐取と判明。
- 6(日) ●反原発派が「安全なら東京に原発を」署名開始。
- 7(月) ●六～八月のビール消費量は一人大瓶三一・六本、七月は過去最高六三万㌔と国税庁発表。
- 8(火) ●一〇〇歳以上一〇七二人で最高と「長寿番付」。
- 9(水) ●環境庁長官提唱の湖沼サミット、東京で開催。
- 10(木) ●日韓定期閣僚会議、ソウルで三年ぶり開催。 ●文部省、四大公害企業名削除の教科書検定への厳しい批判に、企業名復活を指示。
- 11(金) ●志木市議会、「学生市議」長沼明の資格剝奪。
- 12(土) ●京都市、市と飲料メーカーが空き缶回収行う条例案を発表(57年4月1日施行)。
- 13(日) ●ライト・ミュージック・コンテスト開催。審査員特別賞に九州代表のザ・チェッカーズ。
- 14(月) ●国連総会、南アのナミビア統治非難決議。
- 15(火) ●日産と西独VW社、生産協力契約に調印。
- 16(水) ●陸上自衛隊と米地上部隊、初の共同訓練実施。
- 17(木) ●SKD、浅草国際劇場からの独立を決定。
- 18(金) ●仏国民議会、死刑廃止法案を可決。 ●桂離宮の三五〇年ぶりの解体修理が完了。
- 19(土) ●堤清二、西武百貨店と西友ストアで翌春から外国人を定期採用と発表。
- 20(日) ●ジャカルタで一万人集め凧揚げ大会開催。
- 21(月) ●米最高裁初の女性判事にS・オコーナー。 ●日本電気と新日本電気、国産初の一〇万円を切るパソコンPC-6000を発表。
- 22(火) ●北海道警、標津・薫別川のサケ密漁摘発開始。
- 23(水) ●日産日本問題研究所、英オックスフォード大学内に開所(日産の七億円寄付により設立)。
- 24(木) ●三和銀行、採用人数を前年比四割減と発表。
- 25(金) ●宮崎県高千穂町で教師に注意された中三生が教師の車をダイナマイトで爆破。
- 26(土) ●宮古市で二四時間に二一七・五㍉の雨量記録。
- 27(日) ●むつ市長選。原子力船母港化見直し派が当選。 ●フランスの新幹線TGV、営業開始。
- 28(月) ●クロム職業病訴訟で日本化学工業に賠償命令。 ●公取委、静岡の四建設団体を談合容疑で検査。
- 29(火) ●日本特殊陶業、セラミック製エンジンを開発。
- 30(水) ●IOC、第二四回五輪をソウルで開催と決定。

▲**「しんかい2000」潜水日本新(10月13日)**海洋科学技術センターの調査船で、3人が乗船、三重県尾鷲沖で深度2008メートルを達成した。写真は、母船「なつしま」による引揚げ。

◀**榎本三恵子、「ハチのひと刺し」証言(10月28日)**ロッキード事件公判で、元首相秘書・榎本敏夫被告の前夫人が、献金受領を認める証言。「ハチは一度刺したら死ぬ」と名セリフ。

▼**北炭夕張新鉱で大事故(10月16日)**海面下約700メートルでガスが突出し、火災を誘発。死者は戦後北海道炭鉱災害史上最悪の93人。59人の遺体を残して、鎮火のため注水。

▶**スウェーデン領海内でソ連潜水艦座礁(10月28日)**現場は海軍秘密基地に近く、前年来、国籍不明艦のスパイ疑惑活動が頻発。疑惑を残したまま、ソ連側に引き渡された。

▲**ＰＬＯアラファト議長来日(10月12日)**西側主要国への初の訪問。中東情勢におけるイスラエルの非を訴えた。鈴木首相は、PLOをパレスチナ人の代表機関として認める立場を、あらためて表明した。

▶**近鉄の西本幸雄監督引退(10月2日)**健康を理由に決意。61歳。日本シリーズに8度出場、一度も日本一になれず「悲運の名将」と言われた。写真は4日の日生球場での最終戦、古巣・阪急との試合後、ファンに別れの挨拶をする西本。

昭和56年 10月

- 1(木) ●国鉄、「フルムーン夫婦グリーンパス」発売。 ●政府、常用漢字表一九四五字を内閣告示。
- 2(金) ●米大統領、核戦力強化五ヵ年計画を発表。 ●初世松本白鸚・九世松本幸四郎・七世市川染五郎、歌舞伎座で襲名興行。
- 3(土) ●通信衛星用いて初めて日米で医学シンポ開催。
- 4(日) ●社会党都本部大会、協会派と反協会派に分裂。
- 5(月) ●国立がんセンターの平山雄、味噌汁が胃癌・心臓病の死亡率を下げると癌学会で発表。
- 6(火) ●エジプトのサダト大統領、狙撃され死亡。
- 7(水) ●都内勤労者実質収入が六ヵ月連続前年比減少。
- 8(木) ●金色流行で流行色協会が「初の現象」と新聞に。
- 9(金) ●フジテレビ、ドラマ「北の国から」放映開始。
- 10(土) ●西独ボンで三〇万人が中距離核ミサイル配備反対デモ(西欧各地で大規模反核デモ続く)。
- 11(日) ●全国大学対抗利き酒選手権大会、開催。
- 12(月) ●アラファトPLO議長、初来日。
- 13(火) ●「しんかい2000」、二〇〇八㍍潜水に成功。 ●横浜市の米軍小柴貯油施設で燃料タンク爆発。
- 14(水) ●通産省、本部と加盟店のトラブル続発のフランチャイズ・チェーンの実態調査開始と決定。
- 15(木) ●大阪の近畿相銀で偽造カードによる一六〇〇万円詐取が判明(17日平和相銀でも詐取)。
- 16(金) ●北炭夕張新鉱でガス突出事故。九三人が死亡(23日坑内に五九人残したまま注水開始)。
- 17(土) ●彦根市の名神高速で八台玉突き。一六人死傷。
- 18(日) ●中小企業の春闘賃上げが戦後最低と労働省。
- 19(月) ●福井謙一、ノーベル化学賞受賞と決定。 ●泉佐野市、空き缶一個二円の回収作戦を開始。
- 20(火) ●一七歳の堀田あけみ『アイコ十六歳』に文芸賞。
- 21(水) ●ギリシャにパパンドレウ社会主義内閣成立。 ●初の国際身障者技能競技大会(国際アビリンピック)、六一ヵ国参加し東京で開幕。
- 22(木) ●メキシコで初の南北サミット開催。
- 23(金) ●台風二四号で国鉄麻痺、都内五万戸が浸水。
- 24(土) ●ロンドンで江戸大美術展、開幕。
- 25(日) ●巨人、日本ハムを破り八年ぶり日本一。
- 26(月) ●機密ネタに常務脅迫した富士重工課長、逮捕。
- 27(火) ●貯蓄が初めて年収上回ると「国民生活白書」。
- 28(水) ●ロッキード裁判で被告の前夫人・榎本三恵子が「夫が五億円受領認めた」と証言。
- 29(木) ●本田技研、省エネ車「シティ」を発表。
- 30(金) ●この日付で写真週刊誌「FOCUS」創刊。
- 31(土) ●平塚市全域で「大規模地震警戒」と誤報放送。

▶**世界初、気球で太平洋横断(11月10日)** ロッキー青木(43)ら4人が三重・長島温泉を離陸。84時間31分後、サンフランシスコ北部に着陸。写真は、御前崎上空を飛ぶ気球。

◀**世界で初の車椅子マラソン(11月1日)** 国際障害者年を記念し、大分市のハーフマラソンコースで実施。13ヵ国43人の外国人を含む、117人が参加した。優勝タイムは、1時間1分46秒3だった。

朝日新聞社

▶**入場料金半額(12月1日)** 26回目の「映画の日」をファン感謝デーにして、映画人口の斜陽化を食い止めようと、この日、都内全館と17府県の映画館で実施。写真は東京・日比谷のみゆき座前。

共同通信社

▼**自動指紋識別システム公開(11月24日)** 警察庁が日本電気と共同開発、コンピュータが指紋を分類・記憶・照合する。入力は1.5秒、照合も従来の30倍速まった。

共同通信社

▶**大阪空港公害訴訟で最終判決(12月16日)** 夜間9時以降の飛行禁止と損害賠償について、最高裁は賠償は認めたが、飛行禁止は行政への介入として二審判決を破棄。

読売新聞社

▼**小佐野賢治に懲役1年(11月5日)** ロッキード事件についての国会証人喚問での偽証罪を、東京地裁が認めた。小佐野(64)は国際興業社主で、田中角栄の〝刎頸の友〟と言われた。

読売新聞社

昭和56年11月

1(日)●サッカーの釜本邦茂、リーグ通算二〇〇得点。
2(月)●厚生省、胃・肺癌は海岸部で高死亡率と発表。
3(火)●海上自衛隊、相模湾で八年ぶり観艦式挙行。
4(水)●第三セクター方式の三陸鉄道、発足。
5(木)●東京地裁、ロ事件の小佐野賢治に偽証罪認定。
●浦和市の中二少女が拒食症による衰弱で死亡。
6(金)●沖縄県立北城聾学校野球部、コザ高校と初の公式試合(57年4月24日高野連に加盟)。
7(土)●厚生省、人口一〇万に医師一四〇人と発表。
8(日)●全国腎臓病患者連絡協議会、腎提供呼びかけのため全国一四六カ所で街頭キャンペーン。
9(月)●米軍対潜哨戒機、足摺岬沖を航行中の大型タンカーの近くに信号弾数発を投下。
10(火)●成田空港に新管制システム「アーツJ」完成。
11(水)●東大生生活調査で五割が冷蔵庫・テレビ所有。
12(木)●昭和軽金属、アルミ不況で大町工場閉鎖発表。
13(金)●山階鳥類研究所、沖縄本島北部に生息している新種の鳥を「ヤンバルクイナ」と命名。
●「教科書に真実を、言論に自由を」集会開催。
14(土)●大阪造幣局で五百円硬貨の製造開始。
15(日)●第一回日本海文化を考えるシンポジウム開催。
16(月)●日本・ASEAN開発会社、設立。
17(火)●公取委、松戸市のスーパー二店での牛乳安売りを原価割れの不当廉売として摘発。
18(水)●東京で貸しレコード絶対反対の決起大会開催。
●ロサンゼルスで三浦和義の妻・一美が撃たれ、現金強奪される(「ロス疑惑」の発端)。
19(木)●電電公社とIBM、特許の無償交換に調印。
●金の小売り価格が前年一月の半値以下に暴落。
20(金)●水俣病問題閣僚会議、チッソ救済策を決定。
21(土)●横浜で自由民権百年全国集会、開催。
22(日)●東京競馬場で第一回ジャパンカップ開催。
23(月)●倉吉市の獣医ら、猫に白血病流行と学会発表。
24(火)●来日中のピエール・カルダン、装幀した堀口大學の仏詩選の印税を身障者に寄付。
25(水)●道路公団の事業で全国的に談合横行と判明。
26(木)●井上ひさし『吉里吉里人』にSF大賞決定。
27(金)●自治省、公務員給与を減額しない自治体には特別交付税減額などの制裁措置と表明。
28(土)●ゼリア新薬と厚生省、丸山ワクチン供給合意。
29(日)●所沢市の富士見産婦人科事件で卵巣・子宮全摘手術の大半は不要な手術だったと判明。
30(月)●米ソ欧、中距離核戦力制限交渉始まる。
●公文数学研究会の生徒が一〇〇万人を突破。

共同通信社

証言・あの日この日

藤原新也(37)

7月22日(水) 〈10年に一度というほどの雷まじりの豪雨が関東一円に降りそそいだ。/あのペアシティ・ルネッサンス高輪80と肩を並べる品川方面の中層ビルディングの輪郭が薄ぼんやりと灰色に煙っていて、その上空にどす黒い巨大な雲塊が膨張し始めているのが見えた〉(藤原新也『東京漂流』)

写真家・藤原新也の住む芝浦のアパートからは、前年に引退したアイドル歌手・山口百恵の住む高級マンション「ペアシティ・ルネッサンス高輪80」が見える。貧しい木賃アパートから高級マンションへ。それは物質的繁栄を必死に追い求めた戦後の日本の象徴でもあった。しかし、そこにどす黒い雲が……。夕方、藤原は激しい雷雨の中を、この年10月創刊の写真週刊誌「FOCUS」の編集部員との打ち合わせのため外出する。(山崎行太郎)

時事通信社

▼**梅原龍三郎の盗まれた名画帰る(12月8日)** 昭和47年に盗まれた「北京秋天」(右)と「姑娘」が画廊に持ちこまれ、逗子市の美術ブローカーが逮捕された。17日に本来の持ち主の東京・吉井画廊に返却された。

▲**「密造どぶろく」利き酒会(12月20日)** 千葉県芝山町の自宅で、評論家・前田俊彦が「酒造は人間の基本的権利」と酒税法に挑戦、密造酒を知人らにふるまった。国税庁は税の公平負担に反すると摘発。

朝日新聞社

朝日新聞社

▲**南極観測船「しらせ」進水(12月11日)** 「宗谷」「ふじ」に続く3代目。文部省と防衛庁が約244億円を投じて建造し、翌年11月完成した。「しらせ」は基準排水量1万1600トン、「ふじ」に比べ破氷能力で2倍、馬力で2.5倍にもなる。

▼**老人福祉の後退に怒り(12月23日)** 東京・日比谷公園に東京都老人クラブ連合会会員ら500人が結集。22日に内示された大蔵省の予算原案の、医療費負担増、年金問題などに抗議した。

▶**福井謙一、ノーベル化学賞受賞(12月10日)** ストックホルムの授賞式に「フロンティア電子理論」の共同研究者、米コーネル大のホフマン教授とともに出席。63歳。京大工学部教授。

共同通信社

AP/WWP

昭和56年12月

1(火)●横浜駅に全国初のチップ方式トイレ設置。
2(水)●東北自動車道で一八台玉突き。二人死亡。
3(木)●福岡市塗装工事協会、談合問題で解散を決定。
4(金)●科学技術庁政務次官の扇千景、「むつ」は実験船だから事故は当然、とテレビで発言。
5(土)●保険契約後一三ヵ月目に自殺多いと生保協会。
6(日)●根室市で社会党・総評などが日ソ平和条約早期締結・全千島返還要求集会。
7(月)●企業交際費が初の三兆円台記録と国税庁発表。
8(火)●東京芸大への楽器納入収賄事件で教授逮捕。
9(水)●一二月九日を「障害者の日」と決定。
10(木)●同和対策協、新規立法が必要との意見書提出。
11(金)●西独のシュミット首相、東独を訪問。
●横浜市で南極観測船「しらせ」進水。
12(土)●菅原文太・ガッツ石松ら「雷おやじの会」結成。
13(日)●ポーランド首相ヤルゼルスキ、全土に戒厳令布告。ワレサ「連帯」議長を軟禁。
●一票の格差が衆院で四・一三倍に拡大と判明。
14(月)●イスラエル、占領下のゴラン高原を併合と決定(17日国連安保理、併合無効と宣言)。
●民間労組の「統一準備会」発足。三九単産参加。
15(火)●北炭夕張炭鉱、倒産。負債総額七二一億円。
16(水)●最高裁、二審で原告全面勝訴の大阪空港公害訴訟で、夜間飛行差し止め請求を却下。
17(木)●奈良国立文化財研究所、明日香村水落遺跡は『日本書紀』の中大兄皇子の水時計と発表。
18(金)●途上国に瀕死の幼児一七〇〇万人とユニセフ。
●薬局相談最多は「漢方薬の副作用」と厚生省。
19(土)●薬師丸ひろ子主演「セーラー服と機関銃」封切。
20(日)●前田俊彦、自家製どぶろくの利き酒会を開く。
21(月)●茨城県議会、霞ケ浦富栄養化防止条例案可決。
●日本の国連分担金が米に次ぎ二位と外電。
22(火)●都職員の給与実態発表。平均四九七万円。
23(水)●関東地方の中学校番長グループ憂誠会の浅草支部、東京・蔵前署で解散式。
24(木)●第一勧銀ソウル支店争議、解雇撤回で解決。
25(金)●海自の次期主力対潜哨戒機P3C、厚木到着。
26(土)●秋元正博、スイス国際ジャンプで優勝。
27(日)●二五日運転再開の敦賀原発、異常でまた停止。
28(月)●非行は幼児期の子育てに原因と都教育研究所。
29(火)●松下・日立など国内四社、家庭用VTRの統一規格・VHS設定で合意と判明。
30(水)●在日米海軍、第七艦隊などをマスコミに公開。
31(木)●日銀券残高が史上初の二〇兆円台と日銀。

倶楽多市（がらくたいち）

◀沖縄本島北部の山地で発見された新種の鳥が、11月13日、「ヤンバルクイナ」と命名された。 共同通信社

流行語
世の中、幼稚だよなあ！

「三語族」。この年には「ウッソー」「ホントーッ」「カワユーイ」という三語で会話をすませる女の子が"異常発生"した。これが「三語族」で、本人たちにはかわいらしさの表現だったようだが、おとなたちからは社会の幼稚化傾向の表れと言われた。

「粗大ゴミ」。評論家の樋口恵子さんが言い出したもので、定年後、家でゴロゴロしている夫のこと。役には立たず、といって捨てるのも大変という意味で、仕事以外に何の趣味も持たない会社人間の、哀れな末路をさす言葉として広がった。

「マタニティ・ウエディング・ドレス」。妊娠数ヵ月で結婚式をあげる女性が多いのに目をつけた西武デパートが、妊婦専用のウエディング・ドレスを売り出したところ大あたり。婚前交渉が一般化したことの表れとして話題になった。

「良い子悪い子普通の子」。フジテレビの番組から生まれた流行語で、「良い子」と「悪い子」という二分法でなく、「普通の子」の感覚を取り入れた点が若者の共感を呼んだ。

食
サンマは東で、牛肉は西 東西食べ物調査

東大理学部の久保幸夫助手（行動計量学）が東日本と西日本の食べ物の消費傾向について発表した。官庁統計をもとにコンピュータで分析したもので、冷凍手段の発達で食べ物が均一化したと言われるが、まだまだ違いは大きいという。

たとえばサンマは関東・東北地方、特に太平洋側に多い。牛肉は西日本が多く、東日本は豚肉中心。これは豚肉を食べる習慣が、横浜を中心とした中国人によって持ちこまれたせいである。サツマイモは東日本で、ジャガイモの消費は西日本の方がぐんと多いが、これもサツマイモが関東地方で養豚用の飼料として作られた名残である。またお茶類ではコーヒー、紅茶は西日本に多く、東日本は緑茶中心という傾向もはっきりしているという。

（「北日本新聞」九月四日）

CM100年　タレント・中原理恵

テレビCF
「エグイんじゃないの
―コンタック600SRコンタックせき止めSR」
（スミスクライン・ビーチャム製薬）

流行
遊びに、浮気に？ アリバイ音、大あたり

カセットテープの"アリバイ音"が大あたりしている。吹きこまれている音は「いっぱい飲み屋」（民謡のBGM）、「クラブ調飲み屋」（ピアノの弾き語りのBGM）、「マージャン屋」「羽田空港」「新幹線乗り場」など一四シーンで、電話をかけながらテープの音を流し、相手を信用させる趣向。このアリバイ音、もとはマイナーな企画会社がマニア向けに飛行機や汽車の音を集めて売り出したのにヒントを得て、キャニオンが考えたもの。思わぬ好評ぶりに、さっそく第二弾を企画中という。

（「秋田魁新報」一二月一八日）

▲高橋陽一作「キャプテン翼」が「少年ジャンプ」18号から連載開始。この漫画にあこがれた少年は多い

データ
トップは三六三万円 女子の職業別年収

花形の職業は時代によって変化する。特に女子の場合、その傾向が著しい。女子の花形職業の年収を調べたところ、こんな結果が出た（対象二三歳）。

①スチュワーデス＝三六三万円
②テレビ・アナウンサー＝三四八万円
③グラフィック・デザイナー＝二九三万円
④秘書＝二七八万円
⑤グランドホステス（航空会社）＝二七四万円。

以下新聞記者、雑誌記者と続く。

（「ダカーポ」一二月一六日号）

はやり歌

えとせとらレコード博物館提供（2点とも）

▲俳優・宇野重吉の長男、寺尾聰が歌って大ヒット。日本レコード大賞と日本歌謡大賞を受賞。

ルビーの指環

作詞 松本 隆
作曲 寺尾 聰

くもり硝子の向こうは風の街
問わず語りの心が切ないね
枯れ葉ひとつの重さもない命
貴女を失ってから……
背中を丸めながら
指のリング抜き取ったね
俺に返すつもりならば　捨ててくれ
そうね誕生石ならルビーなの
そんな言葉が頭に渦巻くよ
あれは八月　目映い陽の中で
誓った愛の幻
孤独が好きな俺さ
気にしないで行っていいよ
気が変わらぬうちに早く　消えてくれ
くもり硝子の向こうは風の街
さめた紅茶が残ったテーブルで
衿を合わせて日暮れの人波に
まぎれる貴女を見てた
※そして二年の月日が流れ去り
街でベージュのコートを見かけると
指にルビーのリングを探すのさ
貴女を失ってから……
（※くりかえし）

奥飛騨慕情

作詞 竜 鉄也
作曲 竜 鉄也

風の噂に　一人来て
湯の香恋しい　奥飛騨路
水の流れも　そのままに
君はいでゆの　ネオン花
ああ奥飛騨に　雨がふる
情けの渕に　咲いたとて
運命悲しい　流れ花
未練残した　盃に
面影揺れて　また浮かぶ
ああ奥飛騨に　雨がふる

▲前年に発売された竜鉄也の歌で、この年後半大ヒット。日本有線大賞受賞のミリオンセラー。

JASRAC（出）許諾第9713803-701号

▲大阪市の姉妹都市・上海からパンダを含めた曲技団が来日、公演した。 共同通信社

三面記事
出たあ！ 人工の人魂

怪談でおなじみの人魂を人工的に作る実験が、本田技研最高顧問の本田宗一郎氏らによって行われた。人魂の発生については、科学者の間でも①発光バクテリアによるもの、②球電・球雷による電気現象、③メタンガスなどの燃焼、などいろんな説があるが、今回は熊谷清一郎東大名誉教授、中口博千葉大教授らの協力のもと、メタンガス説に従って行われた。

実験は埼玉県川島町の荒川の河川敷にレールを敷いて、その上を長さ二・七メートルの"人魂発生車"を走らせる。約一〇メートル走ったところで、上空に伸びたノズル（ガス噴出口）からガスを放出、点火すると、火はノズル付近の大きな火の玉と、数メートル離れたところにできた"人魂"に分かれ、人魂の方はゆらゆらと揺らめきながら、夜の荒川上空を泳いで行った。

（「毎日新聞」八月二二日）

◀もの珍しさから五〇CC自動車が人気に。伊製三輪自動車「バンビーノ」、九五万円。

社会
釣り銭間違い日本一 国鉄名古屋駅の汚名

〔名古屋発〕国鉄（現・JR）名古屋駅の切符売り場（五三ヵ所）では、お釣りを多く出しすぎて"損"をするのが月に約一〇〇万円、少なく出して"得"するのが二〇万円ほど。年間では差し引き一〇〇〇万円近い持ち出しになっている。釣り銭の間違いで国鉄が損する金のことを「損金」と呼び、一万円の売り上げに対して何円失ったかという万分比で示されるが、名古屋駅の損金は五三年度が一・九、五四年度二・三、五五年度二・五とふえ続け、今年度も一〇月末で二・五。東京、京都、大阪など全国の主要な駅と比べても〇・五くらい上回り、全国ワーストワンだという。

（「中日新聞」一一月一二日）

◀初めての写真週刊誌「FOCUS」（一〇月三〇日号）を新潮社が創刊。一年半で一〇〇万部突破。

犯罪
警官志望の強盗 一次試験パス後に犯行

〔京都発〕京都市内のサラ金会社に強盗に入り、五条署に逮捕された男（二四）が、犯行直前に京都府警の警察官採用試験を受験、一次試験（筆記、作文）に合格していたことがわかった。この男は一〇月二二日、中京区のサラ金会社に押し入り、従業員二人を縛り、現金四万円を奪って逃走。一一月五日、再び同じ店を襲おうと様子をうかがっているところを逮捕された。その身辺調査でこの事実が判明した。

同府警の一次試験は一〇月四日に行われ、五三二人が受験、この男を含め三〇三人がパスした。合格発表は一九日だったから、男はその三日後に犯行におよんだわけ。

（「京都新聞」一一月一五日）

この年の初もの
カラオケ神社 群馬県沼田市に登場

●**入眠器**　すぐに眠れるという器械で、徳島大医学部の松本淳治教授が開発。

●**地震の缶詰**　缶を一五秒まわして机の上におくと、ガタガタ揺れるという玩具。アメリカで大ヒットし、日本に輸入。一九八〇円。

●**粉末酒**　水を注ぐだけで飲める酒で、愛知県の食品会社が開発。

▶高知県大方町立湊川小学校は校区変更と過疎化で在籍児童一〇人、全員女子に。

湊川小学校（現 南郷小学校）提供

キーワードは〝永遠の若さ〟だった！ 上原謙・高峰三枝子の起用で熟年マーケットを切り開いた「フルムーンパス」大ヒットの秘密

国鉄

昭和五六年一〇月に始まり、またたく間に日本の津々浦々に知れ渡った旧・国鉄の「フルムーン」CM。今までとはまったく違うイメージで中高年層をとらえたことで、熟年世代が〝消費の主役の一人〟になりうることを強烈に印象づけた初めての広告だった。

〝タイムマシン演出〟で昭和一〇年代が蘇る

「国鉄（現・JR）始まって以来の大ヒット」と言われる〝フルムーン旋風〟は、昭和五六年一〇月一日、駅に貼られたポスターとテレビコマーシャルで始まった。

蒸気機関車をバックにした上原謙（七一）と、そのかたわらで微笑む白いスーツにガルボハット姿の高峰三枝子（六二）。

「振りむけば君がいて」という宣伝コピーがついたこの「フルムーン夫婦グリーンパス」の広告が、テレビCMや駅構内、電車の中吊りに登場すると、昭和一〇年代を彷彿させる顔合わせとファッションに、「懐かしいなぁ」と思わず駅で足を止める中高年が後をたたなかった。

上原といえば、病院長の御曹子が幼児を抱えた看護婦（田中絹代）と恋に落ちる映画「愛染かつら」（昭和一三年）で主人公・浩三を演じ、一世を風靡した元祖・二枚目俳優。一方の高峰三枝子も、「暖流」（昭和一四年）で大病院の誇り高き令嬢・啓子を演じて、世の殿方をうっとりさせた往年の大女優だ。

昔の美男美女スターの共演とそのあまりの若々しさに、国鉄には「合成写真ですか?」といった声が殺到。〝啓子〟と〝浩三〟に胸をときめかせた中高年層が、タイムマシンに乗ったような錯覚におちいったのである。

この「フルムーンパス」は、年齢合計が「八八歳以上」の夫婦を対象に、二人分の国鉄全線の普通乗車券・特急券・グリーン券をセットにしたもの。二人合わせて七万円（有効期間は七日間）という割安さも魅力だった。その安さもあってか、「フルムーンパス」は、発売九日目で約六〇〇〇組、キャンペーンが行われた六ヵ月間では四万六六二二組が発売され、約三三億円を売り上げる、大ヒットとなったのである。

ちなみに、利用者の平均年齢は男性が五九・五歳で、女性は五六歳。アンケートでは、八割が「『フルムーンパス』がなければ旅行しなかった」と答え、「結婚三二年目にして初の新婚旅行ができました」という便りも数多く寄せられたという。

予想外のヒットに気をよくした国鉄は、翌五七年にも高峰―上原コンビを再起用。今度は群馬県・法師温泉を舞台にした入浴シーンであらわになった高峰の豊満な胸元が、一層話題を呼ぶことになる。シリコン入りか否かをめぐって、山東昭子議員（当時）に、高峰本人が「本物です」と断言する〝シリコン騒動〟まで起きた。こうした騒ぎも手伝って、翌年は前年を上回る約六万六〇〇〇組が発売され、国鉄は四九億五〇〇〇万円を売り上げるのである。

フルムーンキャンペーンを成功に導いた真の理由？

「フルムーン」のキャンペーンが始まったのは、高齢化社会の到来を目前に、いわゆる〝シルバーマーケット〟が注目され始めていた時期だった。

昭和五五年の四五歳から七四歳までの人口数は全体の三六・五％を占め、五年後には三九・六％に増加。六〇年には〝シルバーマーケット〟の規模が三九・三兆円と、全消費市場の三割を占めるようになると予測されていたのである。

「どの業界もこのマーケットを虎視眈々とねらっていました。その中で、『中高年』を『熟年』と言い換えて、初めて〝熟年夫婦に旅を〟と提案したのが国鉄だったんです。二人ですごす時間が長くなるこれからの人生のために、まずは旅で互

▶国鉄の第2回「フルムーン夫婦グリーンパス」のポスター。第1回の利用者は温泉旅行が多かったため、入浴シーンがポスターに採用された。切符は5000円値上げで7万5000円。

▲「フルムーンパス」のテレビCM。 沢渡朔（4点とも）

外から見たNIPPON

英国の植物学者コーナーがたたえた戦時下の「昭南博物館」

佐伯 修

「昭和五一年九月、畏友羽根田弥太博士（当時横須賀市博物館長）からの手紙で、同年九月六日に徳川義親元侯爵が亡くなられたことを私は知った。手紙を握りしめ、ケンブリッジ郊外のわが家のなかをうろうろ歩きまわった。（中略）

日本がシンガポールを占領していた戦時中、あの南の小さな島の片隅に、徳川義親マライ軍政監部最高顧問（彼自身生物学者であった）を中心とする、敵と味方の入りまじった奇妙な学者グループが出現していた。世界じゅうが戦火に燃え、地球が破壊されている最中に、彼らは島の文化遺産を守ることに奔走し、自然科学の諸研究にいそしんでいたのである。なぜそのようなことが可能であったのか、当事者の一人であった私にもいまもって理解できぬ不思議な出来事であった」（石井美樹子訳）

八坂書房提供

▲主著に『マラヤの路傍の木』など。

この年、満七五歳になる英国の植物学者E・J・H・コーナー（一九〇六～九六）は、戦時中、日本により「昭南島」と改称させられたシンガポールにおける体験を『侯爵』（邦題『思い出の昭南博物館』）という本にまとめた。右は、その日本語版の「プロローグ」の一節である。

昭和一七年二月、英領だったシンガポールが陥落した際、コーナーは、同市のラッフルズ博物館・植物園に勤務していた。日本軍占領時の混乱により、そこにあった貴重な学術研究資料も危機にさらされたが、その時、たまたまシンガポールに来ていた、火山学者・田中館秀三は、完全な独断で博物館と植物園の軍による封鎖を解除して、コーナーたち捕虜扱いのスタッフ全員もろとも、これを保護、「昭南博物館・植物園」として再発足させることを、どさくさまぎれに軍に追認させてしまったのである。

その後、両施設の位置づけは、尾張徳川家一九代当主の侯爵・徳川義親が正式な館長に就任することで確固たるものになり、そこでは、コーナーが述べているとおり、敵味方隔てのない研究者の友情がつちかわれた。

一方で、コーナーは、日本将兵の粗暴なふるまいや、日本軍に殺害された華僑と見られるおびただしい屍、そして、コーナー自身が、無防備な状態の日本軍士官を殺そうと考えたことなども、包み隠さず書きとめている。そのうえでなお、彼は両施設を守り抜き、黙々と去っていった一群の日本人の勇気をたたえ、言う。

「国家も、政府も、そして民族も、繁栄しては衰退し、そして破局を迎える。だが、学問はけっして滅びない」

JRA提供

▲昭和58年1月、東京競馬場に登場の「シルバーシート」。65歳以上の入場者に322席を設けた。

いを見つめなおそうとね」

制作を手がけた電通クリエイティブ統括局主幹の小田桐昭氏は、そう振り返る。

当時の旅行業界は、戦前・戦中に青春時代を送り、夫婦旅行に照れや強い抵抗感がある中高年層を攻略しかねていた。

そこに、国鉄の「フルムーン」が、上原、高峰という両スターの起用により、孤独、疎外感といった形容詞でとらえられがちだった中高年イメージを完全に払拭。空前のヒット商品になると、老人専用の旅行代理店を設けた日本交通公社（現・JTB）などの旅行業界だけでなく、電機メーカーが熟年向きの家電シリーズを発売したり、大手出版社が心の豊かさを追求した熟年向けの雑誌を創刊し始める。

いわば、「フルムーン」は、熟年層が〝消費の主役の一人〟たることを強烈に印象づけた、初の広告だったわけである。

しかし、その一方で、このキャンペーン広告に、〝あるテーマ〟が暗示されていたことが、成功のもうひとつの要因になった、と前出の小田桐氏は打ち明ける。

「撮影にあたっては、上原さんと高峰さんをとにかくカッコよく、セクシーに撮ることに注意しました。〝永遠の若さ〟という夢を熟年層に与えるためです。そこで、生命力の源とも言えるセックスをどれだけ広告で表現できるか、中高年の性欲を刺激できるかが制作陣の隠されたテーマになっていたんです。そういう意味でも、七二歳にして子どもを作った上原さんの起用は理想的でしたね」

当時は取り上げられることの少なかった『老人の性』をシンボリックに表現し、熟年層の潜在的な性欲を刺激したからこそ、『フルムーン』は社会現象にまでなった」（小田桐氏）のである。

こうしてさまざまな面から熟年市場が注目されるきっかけとなった「フルムーン」の広告は、昭和六一年に国鉄が分割民営化された後も続くことになる。ちなみに、現在のモデルは、映画「若大将シリーズ」の加山雄三（現・六〇歳）と、松本めぐみ（現・五〇歳）夫妻。奇しくも、最初の〝フルムーン旋風〟から一六年たった三代目のイメージカップルを、上原謙の長男夫婦がつとめている。

読売新聞社

▲昭和55年の敬老の日、大阪のデパートで催された「シルバー・ウーマン・ファッションショー」。384人が参加した。

往きて還らぬ

HULTON GETTY／オリオン・プレス

▲1月6日　A・クローニン（84）

英の小説家。第1次大戦に軍医として出征。その後創作に転じ、1937年『城砦』、1941年『天国の鍵』を発表。

▲1月23日　谷内六郎（59）

画家。昭和30年文藝春秋漫画賞受賞。翌年から「週刊新潮」の表紙絵を死の直前まで描き、多くの人に親しまれた。

共同通信社

▲1月30日　宮本常一（73）

民俗学者。全国を歩いて実地調査を行い、独自の〝宮本民俗学〟を確立。『忘れられた日本人』など著書多数。

▲3月6日　荒畑寒村（93）

社会主義者。明治末、社会主義伝道を展開、足尾鉱毒事件でも貢献。昭和21年衆議院議員。晩年は文筆活動に専念。

▲3月7日　出光佐三（95）

実業家。明治末期石油販売業を始め、昭和15年出光興産設立。28年イランから原油を買い付け、国際的な話題に。

▲3月14日　ルネ・クレール（82）

仏の映画監督。1930年仏初のトーキー映画「巴里の屋根の下」で世界的な名声を獲得。ほかに「夜ごとの美女」など。

▲3月15日　堀口大學（89）

詩人。大正8年処女詩集『月光とピエロ』刊行。ほかに多くのフランス文学作品を翻訳、昭和54年文化勲章受章。

▲7月17日　水原秋桜子（88）

俳人。東大医学部卒。産婦人科病院を経営しながら俳人として活躍。昭和3年「馬酔木」主宰。句集『葛飾』など。

▲8月1日　神近市子（93）

婦人運動家。大正5年、「日蔭茶屋」事件で大杉栄を刺して服役。昭和28年政界入り、売春防止法制定などに尽力。

時事通信社

▲8月22日　向田邦子（51）

小説家、脚本家。人気テレビドラマの脚本で知られ、昭和55年「花の名前」などで直木賞受賞。航空機事故で急死。

共同通信社

▲10月4日　保田與重郎（71）

文芸評論家。昭和10年「日本浪曼派」創刊、評論「近代の終焉」などで青年層に支持を得た。『現代畸人伝』など。

◀9月8日　湯川秀樹（74）

理論物理学者、元京大教授。昭和一〇年、中間子理論発表、二四年日本人初のノーベル賞受賞。平和運動でも活躍。

▶12月28日　横溝正史（79）

小説家。推理小説の第一人者。探偵・金田一耕助が主人公のシリーズで人気を集めた。『八つ墓村』『獄門島』など。

第54号 3月10日(火)発売 定価560円
毎週火曜日発売 講談社 本体533円

1982[昭和57年]

●特集
安全無視で死者三三人の"欠陥"ぶり ホテル・ニュージャパン火災!/「IBM産業スパイ事件」と"日米コンピュータ戦争"/"岡田ワンマン"の息の根を止めた 三越「古代ペルシア秘宝展」贋作騒動!/それはソ連崩壊の第一歩だった! ブレジネフ書記長の"失意と死"

●ニュース・ファイル
フォト+日録で再現する365日…日航機、「逆噴射」墜落(2月9日)/連合赤軍事件の永田・坂口に死刑判決(6月18日)/小錦、来日(6月20日)/国際捕鯨委、商業捕鯨全面禁止を採択(7月23日)/モナコのグレース王妃が事故死(9月14日)/西武、初の日本一(10月30日)/スピルバーグ監督「E.T.」封切(12月4日)

●人物クローズアップ
糸井重里の名コピー「おいしい生活。」

●決定的瞬間
フォークランド戦争と「エグゾセ」

●美の出会い
山田寺跡で法隆寺より古い回廊発掘!

●女たちの肖像…岡本綾子、米公式ツアー初優勝/勝者・敗者…蔦文也と池田高校ナイン/証言・あの日この日…椎名誠、赤川次郎/「現場」を歩く…日向、リニア実験線の跡地利用案/20世紀博物館…豊田町香りの博物館(静岡)/外から見たNIPPON…A・M・ナイルと日本の右翼指導者

●ベストセラー…『プロ野球を10倍楽しく見る方法』/スターと名場面…「蒲田行進曲」「転校生」/モノ語り'82…「コンパクトディスク」「テレホンカード」

日録20世紀専用バインダー

高級感あふれる特製バインダーを用意しました。「日録20世紀」全100巻を10冊ずつ年代順にバインダーにとじてそろえれば、「20世紀」ビジュアル百科のできあがり。10年ごとに分類するためのシールも添付。取りはずしは簡単で、整理にも便利、じょうぶな仕上がりです。あなたの書斎を飾るホーム・ライブラリーとして、永く保存してお楽しみください。バインダーは1部1300円(税別)。全国の書店でお求めください。

■既刊好評発売中(既刊53冊! 1930・1940・1950・1960・1970年代がそろいました)

一九四〇年代

第19号1941[昭和16年] 第20号1942[昭和17年] 第21号1943[昭和18年] 第22号1944[昭和19年] 第3号1945[昭和20年] 第23号1946[昭和21年] 第24号1947[昭和22年] 第25号1948[昭和23年] 第26号1949[昭和24年] 第27号1950[昭和25年]

一九五〇年代

第36号1951[昭和26年] 第37号1952[昭和27年] 第38号1953[昭和28年] 第39号1954[昭和29年] 第40号1955[昭和30年] 第41号1956[昭和31年] 第42号1957[昭和32年] 第6号1958[昭和33年] 創刊号1959[昭和34年] 第11号1960[昭和35年]

一九六〇年代

第12号1961[昭和36年] 第13号1962[昭和37年] 第5号1963[昭和38年] 第2号1964[昭和39年] 第14号1965[昭和40年] 第15号1966[昭和41年] 第16号1967[昭和42年] 第17号1968[昭和43年] 第18号1969[昭和44年] 第4号1970[昭和45年]

一九七〇年代

第29号1971[昭和46年] 第7号1972[昭和47年] 第30号1973[昭和48年] 第31号1974[昭和49年] 第32号1975[昭和50年] 第9号1976[昭和51年] 第33号1977[昭和52年] 第34号1978[昭和53年] 第35号1979[昭和54年] 第8号1980[昭和55年]

最新刊(一九三〇年代)

第48号1936[昭和11年] 第49号1937[昭和12年] 第50号1938[昭和13年] 第51号1939[昭和14年] 第52号1940[昭和15年]

■今後の刊行予定

▶第55号1983[昭和58年]3月17日発売
東京ディズニーランド誕生!●大韓航空機撃墜事件●「荒れる教室」●ドラマ「おしん」が高視聴率獲得

▶第56号1984[昭和59年]3月24日発売
冒険家・植村直己の死●「かい人21面相」は闇に消えた!●「風の谷のナウシカ」●アフリカの飢餓

▶第57号1985[昭和60年]3月31日発売
日航ジャンボ"御巣鷹の悲劇"●エイズ、日本上陸!●「スーパーマリオ」大ブレイク!●"1億総グルメ"

▶第58号1986[昭和61年]4月7日発売
チェルノブイリ原発事故の恐怖!●三原山、大噴火●「いじめ」の卑劣!●岡田有希子自殺

▶第59号1987[昭和62年]4月14日発売
金賢姫と大韓航空機爆破●南氷洋捕鯨に幕●マドンナ、M・ジャクソン来日●「赤報隊」、朝日新聞銃撃

▶第60号1988[昭和63年]4月21日発売
「李恩恵」拉致事件●「リクルート事件」の"醜悪"構造●"じゃぱゆきさん"●ソ連軍、アフガン撤退

バックナンバーは、お近くの書店でお求めください。創刊号のみ282円(税別)です。直接弊社にご注文の場合は、冊数に関係なく、送料200円のご負担となります。なお、代金と送料は先にお送りください。申込先 講談社読者サービス係 電話03-5395-3676

ミニ事典
1981年のキーワード

誠備グループ事件
株投機集団の誠備グループが、宮地鉄工所などの株価を不当につりあげて利益をはかった事件。東京地検は二月一六日、リーダーの加藤暠を逮捕。株式取引のための架空口座を作り利益をあげていたとして所得税法違反(脱税)で追及したが、加藤は口座は客のものと言い張った。昭和六〇年東京地裁は脱税は無罪、客と共謀して株価操作をした罪により懲役一年二ヵ月の実刑判決を下した。

(前段より続く)…はかり、総額一兆五〇〇〇億ドルもの軍事費を支出した。

「連帯」
ポーランド労働者の自主管理労組。食肉の三〇～六〇パーセント値上げを発表した政府声明をきっかけに全土で展開されたストによって、スト権保障とともに労働者がみずからの権利として獲得した組織。前年九月に結成、統一ストライキを指導したワレサが議長に就任した。ワレサはこの年五月一〇日、総評の招きで来日、ポーランド民主化の英雄とたたえられ「連帯」の名は日本でも広く知られるようになった。

日中渡り鳥保護協定
日本と中国を行き来する渡り鳥を両国で保護しようという協定。三月三日、北京で調印された。中国が渡り鳥を保護する国際協定を結んだのは初めて。ツバメ・ユリカモメ・ナベヅル・マナヅルなど二二七種を対象に、捕獲や採卵の禁止、保護区の設定、研究資料の交換などを定めた。

北方領土の日
敗戦によってソ連領土となった択捉・国後・歯舞・色丹の北方四島の返還運動を推進する記念日。二月七日。一八五五年(安政二)のこの日が、日露和親条約締結によって日露国境を択捉島と得撫島の間に定めたことから、閣議決定。しかし、日米関係緊密化とともにソ連は「領土問題は解決ずみ」の態度をとるようになり、連邦解体後になって、やっと交渉継続の希望が生まれた。

▲初めての「北方領土の日」、全国19ヵ所で記念集会が開かれた。納沙布岬では2500人が参加、返還の実現を訴えた。
読売新聞社

歯科一一〇番
歯科医に対する苦情が多いため、日本消費者連盟(代表委員・竹内直一)が開設した相談窓口。電話は四月九～一一日、手紙は四月九～三〇日まで受け付け、弁護士・歯科医師らじ人が回答にあたった。健康保険のきかない治療を強制する、治療が長い、削りすぎではないかなど、三日間で全国から五〇八件もの苦情が寄せられ、消費者連盟は一三日、日本歯科医師会に改善要求を申し出た。

レーガノミックス
レーガン米大統領が就任早々の二月一八日に発表した経済再生計画。高福祉が勤労意欲を低下させ、また政府の干渉が生産効率の向上をはばんでいるとして「小さな政府」を主張。その一方で「強いアメリカ」を掲げて対ソ強硬政策に基づく軍備拡張をはかり、総額一兆五〇〇〇億ドルもの軍事費を支出した。

国家賠償請求訴訟
国民が、国・公共団体の権力の行使や国・公共団体が設置した施設などによって、損害を受けた場合に賠償を求める訴訟。国家賠償法に基づく。再審事件では昭和二四年の「弘前大教授夫人殺し事件」の犯人とされ、二八年後にやっと再審無罪を勝ち取った那須隆さんらが起こした訴訟で初めて国家賠償が認められ、四月二七日、青森地裁は冤罪の償いとして国に九六〇万円の支払いを命じた。

南北サミット
西独のブラント元首相を委員長とする「ブラント委員会」の勧告によって、南北問題を包括的に審議するために一〇月二二日、メキシコのカンクンで開催された国際会議。二二ヵ国が参加、日本は鈴木善幸首相らが出席した。先進国(北)の不況、開発途上国(南)の新国際経済秩序の要求など、一九七〇年代以降の変化を前提に新しい関係構築をめざしたが、その後の実質的進展はない。

不快用語整理法
正式名は、障害に関する用語の整理のための医師法等の一部を改正する法律。五月二五日、公布施行。従来、医師法などの法律中に使われていた障害についての差別的な言葉、聞くものに不快感を与える言葉を、たとえば「めくら」は「目が見えないもの」、「おし」は「口がきけないもの」、「つんぼ」は「耳が聞こえないもの」などと改めた。

テクノポリス
通産省が建設を構想した高度技術集積都市。テクノロジー(技術)とポリス(都市)の合成語。人口数十万人の既存都市の近郊で、先端産業とそれらを研究開発する研究所や大学などのほか居住環境を持つ、人口五万人規模の都市とした。六月八日、宇都宮市・浜松市など全国一六都市を建設候補地とし、昭和五八年の高度技術工業集積地域開発促進法(テクノポリス法)により具体化した。

▲最先端の工業化をめざした熊本テクノポリス構想で熊本空港(写真)のIC貨物輸送量は急増。
毎日新聞社

国際障害者年
国連が提唱した、障害者の社会参加と平等を推進する運動のスタートの年。日本では鈴木首相を本部長に国際障害者年推進本部を設置、この年各種の記念事業を行った。一二月九日はそのしめくくりに日本武道館で「ひろがる希望のつどい」を開催、タレントの黒柳徹子ら障害者福祉の功績者を表彰、翌年からこの日を「障害者の日」とすることを宣言した。

▲6500人が参加した「ひろがる希望のつどい」。
共同通信社

一票の格差
選挙区によって異なる議員一票当たりの有権者数の比率を言う。昭和五二年七月の参院選で大都市圏と過疎区で最大五・二五対一もの開きがあり、大都市圏の有権者らが、これを違憲として裁判を起こした。この年一二月一三日には、自治省が衆院で四・一三倍、参院で五・四五倍に拡大と発表。昭和五八年、最高裁が議員定数を違憲としたため、六一年に定数是正がはかられた。

週刊YEAR BOOK/日録20世紀 1981 CONTENTS

●編集
講談社総合編纂局
アート・ディレクター 山口至剛
表紙デザイン 山口至剛デザイン室(茂村巨利)+渡邉裕
本文レイアウト デザインオフィス八起き
編集協力 有エー・ビー・シー・プレス 株カマル社 株コミュニケーションハウス・ケースリー シド・プロ 有マックス 有マライカ
飯田守 小原伸夫 鍵和田良輔 小松邦宏 張替政展 藤森雅弘
結城順一 吉田忠正

●写真協力
姉崎一馬 岩合光昭 ナクラム・ガデル・カリム 黒柳徹子 ハル
トン・ゲッティ 桜井淳史 沢渡朔 高橋陽一 但馬憲 田沼武
能 野村健二 浜口タカシ イアン・ベイリー パトリック・リッチフィールド
朝日新聞社 インペリアル・プレス AP オリオン・プレス G
AMMA CAMERA PRESS キネマ旬報社 共同通信社
サンテレフォト 時事通信社 集英社 新華社 中国通信 日刊スポーツ PANA通信社 PPS フジテレビ 毎日新聞社 マグナム・フォト 八坂書房 ユニフォト・プレス 読売新聞社 RE
X FEATURES ロイター WWP
JRA 東宝
えとせとらレコード博物館 倉敷市瀬戸大橋架橋記念館 NASA
湊川小学校

本誌収録写真につき、所在不詳などのため事前連絡ができないものがありました。お心当たりの方は、編集部までご一報ください。
©講談社 1998 本誌の記事、写真を無断で複写(コピー)、転載することを禁じます。

スパルタ品質。

PILOT

跳ね、払い、押さえ。日本の文字の特質を知り尽くすとペン先はどこまでも鍛えられる。

「永」。この一字の中に運筆のすべてが集約されるという。パイロットは日本人のあらゆる筆致に対応すべく、日本の文字の基本を見つめることから万年筆を開発。まず強度と柔軟性が同時に求められる地金部分は14Kがベストであると判断し、ペンポイントには超硬質の合金イリドスミンを溶接。そして毛筆を思わせる、しなやかさと弾力、滑らかな書き味を具現化し、書き手の嗜好に合わせ8種類のペン先を用意。書くという個性の表現にプロのまなざしと技で徹底的に臨む。これがパイロットの第一義である。

空気の流れ、インキの流れを追求していくと溝の切り方にも違いが出る。

そもそも毛細管現象により、文字が書ける万年筆。そのペン芯は空気溝、インキ溝、余分に流れ出るインキを溜めておく櫛溝から成る。単純な構造だが、それゆえ奥が深い。僅かな気圧・気温の変化でも、インキの流れに影響を与える。↗ボタ落ちがなく、いかなる場合でも最善の書き味を約束するためには、ひときわ精密な溝の設計、細部への入念さが不可欠だ。結果、コンバーターでインキを補充する際、インキ壜にペンの首までどっぷり浸ける必要がない吸入機構をも実現。精緻であるからこそ、ペン先を紙に当てた瞬間、人間本来の繊細にして温かい感覚が込み上げてくる。それがパイロットの誇りとするところだ。

ステイタスを飾る美しさだけではない。「万年」筆であるためには堅牢さも要求される。

鞘、軸と呼ばれる万年筆のボディ。そこにはいつまでも損なわれることのない美しさと強さを求め、アクリル樹脂を採用。ポケットに入れて服地と擦れ合っても、失われない光沢。手に力がこもっても、しなりのある腰。掌になじむ肌触り。それは単なるステイタスシンボルではない、実際に用いられてこそ真価を主張する「万年」筆であるために。そしてすべては時代が変わっても裏切ることのない品質のために。ペン先からボディに至るまで一貫生産して世に送り出すこと。これこそパイロットの信念である。

カスタム 743FKK-3000R-B 30,000円

シャープペンシル、ボールペンもあります。

カスタム 74HKK-1000R 10,000円

カスタム 74BKK-1000R 10,000円

(価格は税抜き)

ぬくもりを伝えるものだから、
こだわりを持ってつくりたい。

CUSTOM

http://www.pilot.co.jp

週刊YEAR BOOK 日録20世紀 1981
●チャールズ・ダイアナ結婚! 3月17日号

第2巻第10号 通巻53号 平成10年3月17日発行(毎週火曜日発行)
編集人 近藤達士 発行人 丸本進一 発行所・発売所 株式会社 講談社
郵便番号112-8001 東京都文京区音羽2-12-21 (編集)03-3944-1295 (販売)03-5395-3604

定価560円 本体533円

雑誌 23713-3/17 T1123713030566
Ⓛ 2001/1/1

©KODANSHA 1998 Printed in Japan

印刷 凸版印刷株式会社 製本 大村製本株式会社